

国立大学法人

東京農工大学

農学部 / 工学部



GUIDE BOOK 2027

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE & TECHNOLOGY

東京農工大学で夢中になれる

次世代を創造する

研究テーマを見つけよう！

研究 KEYWORDS

Environment/Energy

環境・エネルギー Environment/Energy

環境・エネルギー分野は、東京農工大学が全学的に取り組む重要な研究領域。特に農学部では、「バイオマス」を始めとする資源の活用、持続可能な「物質循環」、地球規模で考える「食品ロス削減」などをテーマにした研究が盛んだ。



データサイエンス Data Science

膨大なデータから社会やビジネスの課題解決につながる「価値」を見出すのがデータサイエンスの研究領域。工学部では、「AI（人工知能）」、「VR（バーチャルリアリティ）」、「スマートモビリティ」など世界が目する最先端研究に挑戦できる。



ライフサイエンス Life Science

ライフサイエンスとは、「生命科学」のこと。生物学や生化学だけでなく、医学、経済学、社会学などにも広がる学際的な研究領域だ。農学部では、「持続可能な生物生産」や「応用微生物学」はもちろん、「体外配偶子形成」などのテーマも探せる。

カーボンニュートラル Carbon Neutral

「脱炭素社会」の実現を目指すのが、「カーボンニュートラル」の研究領域。地球にやさしい化学「グリーンケミストリー」、持続可能な「再生可能エネルギー」、生物由来の「バイオマテリアル」など工学部からも環境のテーマにアクセスできる。



Carbon Neutral

MORE SENSE

美しい地球持続のために

地球をまわそう

それは地球を取り巻く問題に積極的に取り組み、科学の進化に貢献する姿勢です。東京農工大学では、国際社会でリーダーとしての役割を担い、持続発展可能な社会づくりのための人材育成と知の創造に邁進し、未来の地球をまわす人材を世に送り出していきます。

CONTENTS

01 次世代を創造する研究KEYWORDS	農学部	工学部	38 大学院
02 先端研究の現場REPORT	16 生物生産学科	26 生命工学科	40 卒業生インタビュー キャリア支援
03 東京農工大学のグローバル教育	18 応用生物科学科	28 生体医用システム工学科	42 進路・就職
04 学長メッセージ/沿革	環境資源科学科	30 応用化学科	44 府中キャンパス
	22 地域生態システム学科	32 化学物理工学科	46 小金井キャンパス
	共同獣医学科	34 機械システム工学科	48 農工大生の1日
12 東京農工大学の学び		36 知能情報システム工学科	50 サークル紹介
14 学部学科INDEX			52 学生生活サポート
			54 数字で見る農工大/イベントカレンダー
			55 入試情報
			56 イベント情報

先端研究の現場

REPORT

東京農工大学には、実にさまざまなテーマの研究室があり、日々最先端の研究が行われている。農学部 工学部の注目研究室をピックアップ!



食品ロス削減 Food Loss Reduction

農学では生産段階に加え、収穫後から消費に至るまでのフードサプライチェーン全体を捉え、品質と流通の課題を扱う分野も重要となる。品質を評価する手法や鮮度低下を防ぐ技術の開発など、幅広い研究が行われている。



鮮度保持フィルムを用いた包装条件下で、流通中のブロッコリーの品質保持効果を検証中

ポストハーベスト工学 研究室

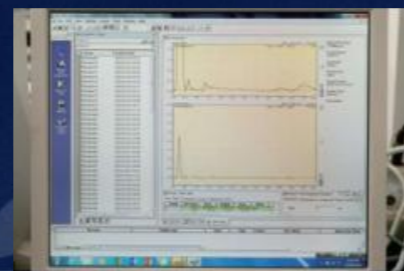
収穫後の青果物の品質保持技術を通じて世界的課題である食品ロス削減に挑む!

「ポストハーベスト工学」は、収穫した野菜や果物を新鮮なまま消費者に届けるために、貯蔵・流通中に起こる品質変化を科学的に捉え、劣化を抑える技術を開発する研究分野です。研究室では、青果物の代謝反応(呼吸など)を含む生理変化を計測するとともに、温度や湿度、ガス環境、振動など流通環境のデータと光学的な非破壊計測、成分分析などを組み合わせ、品質の状態や劣化の進み方を「可視化」し、品質管理に活かす方法を検討しています。

また、品質変化に関するエチレンに着目し、酸化チタン光触媒(P25)を固定化したモジュール等を用いたエチレン分解・制御技術を開発しています。本研究室の強みは、フィールド調査、ラボ実験、数値解析を組み合わせ、技術導入の効果を多面的に検証できる点です。こうした知見を統合し、流通条件に合わせた品質管理技術を提示することで、国内およびアジア地域の流通課題の解決に貢献することを目指します。英語での研究発信や国際学会での成果共有を通じて、グローバルな視座を身につけられる点もこの研究の面白さだと思います。



農学部地域生態システム学科
教授
安永円理子
YASUNAGA, Eriko



ガスクロマトグラフにより、P25を塗布した基盤のエチレン分解量を定量

P25 を用いた エチレン分解デバイスを開発



光触媒「P25」を用いたエチレン制御デバイスを独自開発

光触媒を用いたエチレンの酸化分解に関する研究を行っています。光触媒に用いるのは、P25 と呼ばれる酸化チタンの粉末です。これを薄膜として基材に固定化し、そこに紫外光を当てて、エチレンの酸化分解に有効かを調べています。すでに実験では、P25の光触媒としての効果を確認しており、今後はこれをどうスケールアップするかが研究課題となっています。

この研究テーマを選んだのは、もともと食品ロス削減の問題に関心があったからです。学部の授業で、青果物の品質は流通段階で大きく変化することを学び、劣化の原因となるエチレンを制御する技術に興味を持つようになりました。この解決方法として、光触媒という環境負荷の少ない方法を用いる点にも魅力を感じています。大学院修士課程では、自作したエチレン分解デバイスを

以外の波長の光にも反応するように改良するのが目標です。将来は食品流通の仕事などに携わり、食品ロス削減に少しでも貢献したいと思っています。



大学院農学府農学専攻
食農情報工学コース
修士課程1年

兵庫県立長田高等学校出身



研究室には最新の超音波画像診断装置が設置されており、いつでも生体画像データを収集できる

AI (人工知能) Artificial Intelligence

教育やビジネスなど幅広い分野でAIの活用が進んでいる。中でも医療分野におけるAI応用は注目度が高く、画像診断や生体データ分析、ロボット手術など、世界中でさまざまな技術開発が進められている。



工学部生体医用システム工学科
教授
梶田晃司
MASUDA, Kohji

医用超音波工学研究室

超音波画像診断とAIを融合したオールインワン診断/治療を実現する!

超音波を用いた診断や治療方法の開発を行っています。医療現場で「エコー」と呼ばれる超音波画像診断装置は、CT(コンピュータ断層撮影)やMRI(磁気共鳴画像法)と比較して、装置が小型で低コストというメリットがあります。また、診断と同時に治療ができる点も超音波の優位性といえるでしょう。最近では、超音波を集めた熱でがん細胞を壊死させたり、結石を破碎したりするような治療法の開発も進んでいます。これからは、超音波を使ったオールインワン診断/治療がますます注目されるようになるでしょう。

現在、力を入れているのは、超音波医療へのAI応用です。AI技術の一つである機械学習を用いて、超音波画像診断の精度を向上させたり、必要な画像情報を自動検出したりする技術を開発しています。医療機関や医療機器メーカーとの共同研究も積極的に行っています。もともと日系メーカーの超音波画像診断装置は世界をリードする存在です。超音波のみを用いた診断/治療装置を日本の新たな産業として育て、輸出産業にまで発展させることが夢です。



研究室では多数の女子学生が活躍中

を用いて超音波 次元画像から 血管や臓器を自動検出する技術を開発



を用いてヒト肝臓血管を 次元再構成したイメージ

を用いて医療画像から血管や臓器を自動抽出する研究に取り組んでいます。具体的には、超音波 次元画像から肝臓の静脈や周辺臓器を自動で検出するAI手法の開発で従来の手法では診断精度が低く、自動化も困難という課題がありました。そこで、超音波画像特有のノイズを除去する新たな処理方法を開発し、目的となる血管網の抽出精度を 10%以上向上させ、これを自動化することにも成功。また本研究成果は、Symposium on Ultrasonic Electronics USE2025 にて奨励賞を受賞し、高評価を頂きました。

この研究に興味を持ったきっかけは、祖母が病気で入院した際に支えてくれた医療現場の方々の姿です。さらにプログラマーである父の影響もあり、医用画像処理など医療に関わる工学を専門的に学ぶ道を選びました。そして、入学後に医用超音波工学研究室 に入部し、で、医療機器メーカーへの就職予定です。 エンジニアとして、画像データ解析分野などで社会に役立つ研究を続けたいと思っています。



大学院工学府
生体医用システム工学専攻
博士前期課程修了

体外配偶子形成 In Vitro Gametogenesis

体外配偶子形成とは、体外で未分化な生殖細胞を精子や卵子に分化させる技術のこと。すでにマウスの実験では成功事例があり、今後は家畜の繁殖、希少動物の種の保全などでの応用が期待される。



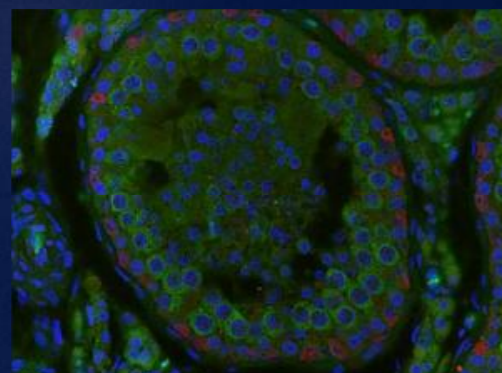
農学部共同獣医学科
准教授
山本ゆき
YAMAMOTO, Yuki



獣医生理学研究室

哺乳動物の精原細胞を培養して、
体外で精子を産生する技術を開発

近年、体外受精などの生殖補助医療技術が、家畜繁殖や希少動物保全の現場で活用されています。生殖補助医療には、雌性配偶子である卵子が必要です。精子は成熟した雄の精巣内で「精原細胞」から形成されます。そのため、死亡個体や未成熟個体からは入手できません。こうした個体の精原細胞を回収し、体外で精子形成を誘導できれば、配偶子の入手・保全が可能になります。当研究室では、希少動物の種の保全を目的として、哺乳動物の精原細胞から体外で精子を産生する技術開発を目指しています。すでに未成熟マウスの実験では成功しており、現在は成熟マウスやイヌ、ネコを対象に同様の技術の確立に挑んでいます。実験動物や伴侶動物だけでなく、家畜や動物園動物、野生動物も対象にしています。東京農工大学は附属動物医療センターがあるほか、近隣に多摩動物公園もあり、多様な哺乳動物種の生体試料を入手しやすい環境があります。今後も精巣細胞の機能解明を進め、希少動物種の保全に資する技術開発に取り組んでいきます。



犬の精細管の断面図。精子形成前（赤色）と形成途中（緑色）の精原細胞、青色は細胞核

多様な動物種を未来につなぐための
生殖や繁殖という研究分野を知った



研究室で培養しているマウスの精巣組織

成熟マウスの精巣を使って、体外で精子が形成される過程を再現するための培養条件を検討しています。専用の培養デバイスにマウスの精巣組織を入れ、温度や添加物などを細かく調整します。私はマウスの精巣で実験を行っていますが、過去には多摩動物公園から提供を受けたキリンやチーターの精巣で解析を行っていた先輩もいます。この研究は繁殖が難しい動物や希少動物の遺伝的多様性を守りながら次世代につなぐ技術に発展できる可能性があり、大きな社会的意義を感じています。もともと私は野生動物の保護に携わりたいという思いがあり、獣医学の道を志しました。そして、入学後に目の前の動物を守るだけでなく、多様な動物種を未来につなぐための生殖や繁殖に関する研究の重要性に気づき、獣医生理学研究室を選びました。将来は獣医師として、野生動物の多様性保全に関わるのが目標です。研究で得た視点や経験を動物園や水族館などの現場で活かしたいと思っています。



農学部共同獣医学科6年



ナノスケールの光や熱を可視化する電子顕微鏡



独自開発したメタマテリアル

エネルギーデバイス 工学研究室

空気中の熱エネルギーを電気に変換する
世界初の「メタマテリアル熱電変換」を提案

空気中から熱エネルギーを集めて電気に変換する技術「メタマテリアル熱電変換」を世界で初めて提案し、その効果を実証しました。実用化できれば、道路やビルの上層の熱を利用して発電し、建物内のIoTデバイスへ給電する環境発電素子への展開が期待できます。この技術の優位性は、空気中の熱エネルギーを電気に変換することで、空間を冷却する技術としても活用できること。まさに理想的なエネルギー循環が可能になります。メタマテリアルは、当研究室が独自開発した人工材料で、自然界の材料では実現できない光学特性を持っています。この技術を使えば、発熱が問題となっている高集積電子デバイスの冷却を加速できます。スケールアップできれば、世界中で懸念されるAI向けデータセンターの発熱問題などを解決できる可能性もあります。日本はもともとこうしたデバイス材料の技術開発において、確かな実力があります。今後、次世代のAIや半導体開発を支える材料の技術にますます注目が集まるでしょう。

再生可能エネルギー Renewable Energy

自然界で繰り返し利用でき、枯渇しにくいエネルギー源のこと。水力、風力、太陽光、バイオマスなどを用いたエネルギーがよく知られている。化石燃料と比較し、CO₂排出量が少ないというメリットもある。



工学部知能情報システム工学科
教授
久保若奈
KUBO, Wakana



メタマテリアルが熱を奪う様子を
赤外線カメラで捉えることに成功！



メタマテリアルを用いた冷却装置

空気中の熱を電気に変える「メタマテリアル」の性能を評価する研究に取り組んでいます。メタマテリアルは、光をピンポイントで吸収できる機能を持っています。私たちの研究チームは、この素材がまわりの媒体から熱を奪って冷やす様子を世界で初めて赤外線カメラ映像として捉えることに成功しました。素材表面における熱抽出を可視化できたことで、周囲を冷却するデバイス開発の可能性がますます広がります。私は高校時代からプログラミングに興味があり、工学部知能情報システム工学科に進学しました。その後、光や熱など目に見えないナノスケールの物理現象に惹かれ、現在に至ります。将来の目標は、グローバルな世界で活躍できるエンジニアになることです。学部1年次に参加した国際学会で英語による研究発表を経験し、自信ができました。できれば、在学中に海外大学での研究留学にも挑戦し、最新のデバイス材料に関する研究の視野を広げたいと思っています。



大学院工学部知能情報システム
工学専攻 博士前期課程1年

イノベーションリーダーを育成する

東京農工大学のグローバル教育

東京農工大学では、各学生の目的や語学力レベル、専門に応じて、さまざまな留学プログラムを用意しています。短期語学留学から専門性の高いセメスター派遣、本格的な研究留学まで多彩なチャンスを提供し、グローバルに活躍するイノベーションリーダーを育成しています。

世界42か国・地域171機関のネットワーク

ASIA アジア

- インドネシア
ボゴール農科大学
バンドン工科大学
ガジャマダ大学
ランブン大学
インドネシア技術評価応用庁
ベテランジョグジャカルタ大学*
- ウダヤナ大学
インドネシア大学
スンパワ工科大学
ジェンパー大学
- カンボジア
カンボジア王立農業大学
カンボジア工科大学
- タイ
チュラロンコン大学
カセサート大学
キングモンクット工科大学ト
ンブリ校
マヒドン大学
泰日工業大学

- チェンマイ大学
マハナコーン工科大学
ナレスアン大学
スラナリー工科大学
ワライラック大学
タイ国立科学技術開発庁
- 韓国
慶熙大学校
済州大学校
国立慶尚大学校*
- 中国
全南国立大学校
大邱慶北先端医療産業振興財団*
- 中国
浙江大學
南京林業大学
華東理工大学
中国農業大学
東北林業大学
南京農業大学
東華大学
東北農業大学
貴州大学

- 北京郵電大学
上海交通大学*
- 雲南民族大学
大連理工大学
北京林業大学
中国環境科学研究院
上海市農業科学院
南京工業大学
広東工業大学
浙江工商大学*
- 中国科学院プロセスエンジ
ニアリング研究所*
- 湖南農業大学
中国社会科学院日本研究所*
- ネパール
農林大学
- バングラデシュ
スタムフォード大学
チャッタゴン大学
ラジシャヒ大学
ダッカ大学
- フィリピン
ビサヤ州立大学

- フィリピン大学ロスピニョス校
フィリピン大学ディリマン校
セントルイス大学
デ・ラサール大学
- ブルネイ・ダルサラーム
ブルネイ・ダルサラーム大学*
- ベトナム
カントー大学
フエ農林大学
ハノイ科学技術大学
ホーチミン市科学大学
ホーチミン市工科大学
ホーチミン市国際大学
ベトナム国立農業大学
ノンラム大学
チャビン大学
- マレーシア
マレーシア工科大学
マレーシア・プラ大学
マラ工科大学
クアラルンプール大学
マレーシアマラッカ技術大学

- マレーシア国民大学
- ミャンマー
イェジン農業大学
- ラオス
ラオス国立大学
- 台湾
台湾工業技術研究院
国立陽明交通大学
国立中興大学
国立高雄科技大学*
- 国立屏東科技大学

NORTH AMERICA 北アメリカ

- アメリカ
ニューヨーク州立大学バッ
アロー校
パデュー大学
ハワイ大学マノア校
カリフォルニア大学デービス校
コーネル大学*
- カリフォルニア大学リバーサイ
ド校*
- アリゾナ州立大学
デューク大学
ジョージア工科大学
ノースカロライナ大学チャペ
ルヒル校
カリフォルニア大学アーバ
イン校*
- グランドキャニオン大学

OCEANIA オセアニア

- オーストラリア
モナッシュ大学
ロイヤルメルボルン工科大学
クイーンズランド大学
●ニュージーランド
リンカーン大学

SOUTH AMERICA 南アメリカ

- ブラジル
パウリスタ総合大学
カンピナス州立大学
- ペルー
ラ・モリーナ国立農業大学
国立農業研究所
国立セルバ農業大学
- メキシコ
チャピング自治大学
国際トウモロコシ・コムギ改
良センター

EUROPE ヨーロッパ

- アルメニア
アルメニア国立農業大学
- イタリア
ローマ大学
ミラノ大学
フィレンツェ大学

- バドヴァ大学
マルケ工科大学
ピサ大学
フェラーラ大学
パヴニア大学
- ウズベキスタン
タシケント州立農業大学
ウズベキスタン共和国自然
保護庁
カラカルバクスタン農業・農業
技術大学
サマルカンドアグロイノバ
ション大学
- イギリス
ブライトン大学
オックスフォード大学*
- クイーン・メアリーカレッジ
(ロンドン大学)
- オーストリア
ウィーン獣医科大学
- オランダ
ヴァーヘニンゲン大学
フローニンゲン大学

- スウェーデン
スウェーデン王立工科大学
カロリンスカ研究所*
- スペイン
オビエド大学
バレンシア大学
- チェコ
チェコ工科大学
メンデル大学*
- チェコ生命科学大学プラハ
- ドイツ
アーヘン工科大学
ホーエンハイム大学
ボン大学
ミュンヘン工科大学
シュタインバイス大学
ユリウス・クーン研究所
生物学的防除研究所*
- ライプニッツ農業景観研究
センター
ケルン大学*
- ブラウンシュヴァイク工科大学
ライプニッツ農業工学・生物

- フィンランド
アアルト大学
オウル大学
- フランス
グルノーブルアルプス大学
モンペリエ大学
ナント国立高等中央学校
ポールサバティエ大学
(トゥールーズ第三大学)
パリエストレイユ大学*
- グスターヴ・エッフェル大学
ESIEEパリ・エンジニア学院*
- パリ国立先端技術学校
- ブルガリア
トラキア大学
- ポーランド
ヤゲロニア大学
ポーランド日本情報工科大学
- ポルトガル
リスボン大学
- ロシア
パンフィック・ナショナル大学

MID-EAST 中東

- アフガニスタン
カブール大学
- イラン
タブリズ大学
- トルコ
アンカラ大学
アンカラ大学農学部*
- 黒海工科大学
イスタンブール工科大学
チュコバ大学
エーゲ大学
ブルサ・ウルダグ大学

AFRICA アフリカ

- エジプト
ベンハー大学

- ガーナ
ガーナ大学
- タンザニア
ソコイネ農業大学

UN 国際連合

- 国際連合
国際連合食糧農業機関

協定締結校数

アジア84校、ヨーロッパ52校、北アメリカ12校、南アメリカ7校、中東8校、オセアニア4校、アフリカ3校、国際連合1校 (2025年5月11日現在)

※部局間協定
Inter-departmental Agreement

10日～2か月間

短期派遣 プログラム

現地の農・工業や文化を体験
学生と交流するチャンスも

学生の学びテーマに合わせて、海外の現場視察をするための短期留学プログラム。学部1～3年生が主な対象で、夏季・春季の休暇中に実施されます。派遣先は、アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア、タイ、マレーシア、ブルネイなど。現地の農業や文化などを体験できるほか、現地の学生と交流するチャンスもあります。



3か月～6か月間

セメスター派遣 プログラム

現地で履修しながら文化やビジネスを
学ぶ中長期の派遣プログラム

東南アジアをメインとする派遣先で、1学期以上を過ごし、現地の文化やビジネスについて学ぶプログラム。対象は学部3年生です。派遣先は、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、ドイツ、フランス、オランダ、イタリア、フィンランドなど。現地でインターンシップを経験できるプログラムもあります。



1か月～1年間

研究留学

海外大学の研究室に所属し
本格的な研究に参加できる

学生が各自の研究テーマに合わせて派遣先を決める本格的な研究留学。学部4年生から大学院修士課程の学生が主な対象で、派遣先は世界各国の大学や研究機関です。現地の研究室に所属し、本格的な研究に参加します。研究活動を行うため、一定レベルの英語力が求められます。日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を利用した支援も可能です。



1年間

ダブルディグリー プログラム

農工大と提携大学の
2つの修士号を取得可能

東京農工大学の大学院修士課程に在籍しながら提携大学に1年間留学することで、農工大と留学先の2大学の修士号を取得できるプログラム。カリフォルニア大学デービス校、ミラノ大学農学部、ガジャマダ大学林学部(インドネシア)など。本学の学費を支払うことで、海外大学の学費は免除。奨学金を利用できる可能性もあります。



グローバル人材 育成プログラム

ワンランク上の
研究交流プログラム

主に大学院生を対象にしたグローバル人材育成プログラムも豊富です。小金井キャンパスで行うドイツ・シュタインバイス大学合同研修、海外大学と一緒に専門性を活かしながら社会課題解決を考えるFLOURISHの海外合同研修があります。また、FLOURISHでは博士後期課程SPRING奨学生に研究留学費用を助成しています。



日本国内にいても 「国際力」が身につく バディ制度もある

「国際力」を身につけるための取り組みは、キャンパス内でも行われています。2019年度からスタートした新カリキュラムでは、教養教育としての英語科目において「読む・聞く・話す・書く」の4技能をバランスよく伸ばす科目を配置し、英語によるディスカッションやプレゼンテーションなどを行います。また、英語力向上推進プログラムの一環として、TOEFLテスト対策講座を学内にて実施し、英語による講義を受講し単位が取得できるレベルの英語力育成を目指しています。その他、留学生とともに学びながら、日本での生活をサポートするバディ・クラブの活動も盛んに行われ、英語でのコミュニケーション力やグローバルな視点を培うことにつながっています。

各留学プログラムの
詳細はこちら



留学体験記

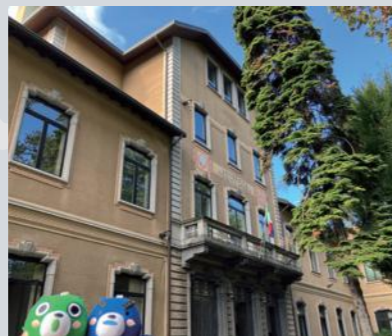
ダブルディグリープログラム



イタリア・ミラノ大学に留学し、水田地域の水利用について研究

大学院農学府在籍中に、ダブルディグリープログラムを利用して、修士課程1年の9月から修士課程2年の8月まで約1年間、イタリアのミラノ大学に留学しました。きっかけは、学部時代にセメスター留学制度(AIMS)を利用してタイに留学したことです。そこで国際的な環境で研究することの楽しさを感じ、長期の研究留学に挑戦したいと思うようになりました。関心のあるテーマで1年間の研究留学が可能であったことに加えて、修了時期を延ばすことなく渡航先大学の修士号を取得できることや奨学金制度にアクセスしやすいことなどが魅力で、ミラノ大学のダブルディグリープログラムを選びました。留学中は現地の大学院の授業を受講しながら研究活動に取り組みました。授業では、プログラミングや統計学などの実用的な科目に加えて、各国からの大学院生が集まる専門の短期講習や教養科目など幅広く受講しました。

両大学の先生や学生と議論を重ねるなかで、自身の研究の知識や英語力の不足を実感する場面もありましたが、指導教員や研究室メンバー、周囲の方々の研究への熱意や寛大なサポートのおかげで、最後には修士論文をまとめることができました。修士課程修了後は、国立研究機関に就職し、研究職として農地基盤や水管理など、農業の基盤を支える農業土木分野の研究に携わっています。イタリア留学を通して、新しい環境で多様な価値観の人とコミュニケーションをとりながら研究を進める楽しさを学びました。今後もさまざまな立場や分野の人と協力しながら農業分野の課題解決に貢献したいと思っています。



ミラノ大学農学部のクラシカルな建物



ミラノ近郊の水田でのフィールド調査の様子



大学院農学府農学専攻
国際イノベーション農学コース
修士課程修了

安達侑里 ADACHI, Yuri

国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究部門勤務

プログラム：ミラノ大学
ダブルディグリープログラム
留学先：ミラノ大学（イタリア）
期間：1年間

研究留学

無線通信分野をリードする大学で最先端の実験設備に触れた

大学院工学府で周波数利用観測システムの開発に取り組んでいます。学部2年次からフィンランドにあるオウル大学を訪問し、現地の教授と共同研究を進めてきました。このつながりから、博士前期課程2年次にはオウル大学で2か月間の研究留学を経験しました。同大学は無線通信分野において世界をリードする研究機関であり、最先端の実験設備が整っています。また、多くの優れた研究者が在籍している点も留学を決めた大きな理由でした。私にとって最大の目的は、周波数利用観測の実証実験を行うこと、そして国際共著論文を完成させること。これらは無事に前進しており、世界の研究者との人脈をつくることもできました。今後も国際的な研究活動を深め、無線通信分野の研究者になることを目指します。



冬のフィンランドで無線通信の実証実験に挑戦



大学院工学府
知能情報システム工学専攻
博士後期課程2年

劉耀康 LEOW Yau Hong
マレーシア出身

プログラム：研究留学
留学先：オウル大学（フィンランド）
期間：2か月

セメスター留学

タイで資源分野について学び将来の研究に生かしたい！

学部3年次に6か月間、タイのカセート大学に留学しました。資源分野に興味があったので、資源輸出国タイに長期間身を置くことで、将来の研究につながる知識が得られると考えました。留学先では、森林学部の研究室に所属しながら、農学部で熱帯農業を学びました。研究室では、タイの屋台でよく使われる耐熱紙の研究、国産の竹で楽器をつくる研究などに参加。国産竹の研究プロジェクトでは、実際にタイ北部を訪れ、試料採取調査に同行する経験もできました。研究以外では現地NGOを通じて、マングローブ植林のインターンシップを経験しました。アジアで豊かな自然に触れ、地球環境を守る大切さを実感しました。将来は、資源・環境分野で国際的に活躍できる人材になりたいです。



国産の竹で楽器をつくるプロジェクトのメンバーと



大学院農学府農学専攻
自然環境資源コース修士課程2年

村井陽香 MURAI, Haruka
私立市川高等学校出身

プログラム：セメスター派遣プログラム
留学先：カセート大学（タイ）
期間：6か月

教員MESSAGE

短期派遣から長期の研究留学へ農工大から世界に羽ばたこう！

農学・工学を専門的に学ぶ上で、海外との研究交流はますます重要になっています。翻訳技術が発達した現在、留学の目的は英語力の上達から異文化理解や国際的なコミュニケーション能力の習得にシフトしています。東京農工大学の留学プログラムの特長は、短期プログラムでも実習やファームステイなどを体験できること。長期プログラムでは、連携大学の研究室で本格的な研究に取り組むことができます。在学中に短期派遣→セメスター派遣→長期研究留学と段階的に本格的な留学プログラムにチャレンジする学生も数多くいます。また、海外からの留学生をサポートする「パディ・クラブ」の活動に参加すれば、

帰国後も異文化コミュニケーションを継続できます。留学のタイミングとしては、学部1～2年次に1か月程度の短期派遣を経験し、3年次以降に3か月～半年のセメスター派遣に挑戦するケースが多いようです。最近では、留学することで就職活動に影響が出るのではと気にする人を見かけますが、農工大は農学部・工学部とも大学院進学をする学生が大半なので、過度に心配する必要はありません。むしろ、海外で実践的な学びを経験し、視野を広げることで、将来の可能性は大きく広がります。このように農工大には、グローバル社会で活躍する力を鍛えるさまざまな機会があります。これから世界に羽ばたいてみませんか？



副学長（国際担当）
大津直子 OHTSU, Naoko

短期留学

比較的低いハードルで貴重な留学経験を得られる

幼少期から海外への憧れはあったのですが、旅行や留学の機会に恵まれませんでした。大学ではぜひ挑戦したいと思い、2年次に約2週間の短期語学留学を決意。留学先としてブルネイを選んだのは、非常に治安がよく海外初心者におすすめだと聞いたからです。また、日本人と同様に、第2外国語として英語を学習している点も魅力的でした。現地の大学では環境プログラムに参加し、森林で珍しい植物を観察したほか、魚の養殖と水耕栽培を組み合わせた栽培方法についても学びました。初めての海外ということで生活面の苦勞は多くありましたが、多くの人々の優しさに助けられ乗り越えることができました。比較的低いハードルで貴重な経験を得られるところが、短期語学留学のいいところだと感じています。



ブルネイでは同世代の大学生と交流も



農学部生物生産学科3年

下山慈乃
SHIMOYAMA, Yoshino
愛知県立旭丘高等学校出身

プログラム：語学研修プログラム
留学先：ダルサラーム大学（ブルネイ）
期間：2週間

「知る人ぞ知る」から 「誰もが知っている」 大学へ!

東京農工大学は、農学部と工学部からなる日本で唯一の国立大学です。農学・工学という日本の1次・2次産業を支える教育機関として発展してきました。ルーツをたどれば、農学部で蚕を育て、工学部で繊維をつくる研究に取り組み、現在のような幅広い社会課題に挑む大学に成長しました。

農学とは、未来に向かって自然と人のつながりを探究する学問分野。一方、工学とは、テクノロジーによって人の生活をより豊かにする新たな世界をつくる学問分野です。「食」「健康」「環境」「エネルギー」「AI」「ロボティクス」「バイオテクノロジー」など学べる研究テーマは多岐にわたります。現在は、農業にAIを導入する共同研究なども盛んで、両者の相性は抜群です。「自然からの学び」と「最新テクノロジー」が融合するとき、人類を次のステージに導く「何か」が見つかるのではないのでしょうか。

地球は今、気候変動、貧困、資源枯渇などの複雑で相互に関連する課題を抱えています。これを解決するには、これまで以上に高度で総合的な科学技術の発展が不可欠です。そこで東京農工大学では、企業や行政機関と連携した世界最先端の研究環境を整備しています。国際的な研究交流も盛んで、世界トップレベルの研究者が常にキャンパスを訪れています。野生動物の生態調査、感染症の研究、自動運転技術、AIを用いた脳波解析、電子デバイスを支える材料開発など、ここから常に世界レベルの研究成果が発信されています。そして、こうした教育・研究を進める上で欠かせないのが、多様な学生の受け入れです。現在も多様な国籍、価値観、ジェンダーなどをリスペクトし合える学生たちが集い、互いを刺激し、高め合いながら学んでいます。

私たちが目指すのは東京農工大学を「知る人ぞ知る」から「誰もが知っている」大学へと進化させることです。さまざまな業界で活躍する卒業生たちの実績により、産業界においての本学の評価は極めて高いのですが、一方、一般社会に目を向けると専門性の高い大学と思われているのが実情です。これからは、農学・工学の専門知識に経済・経営のノウハウも加え、イノベーションを加速していくつもりです。

農学・工学の世界レベルの知見が結集するこの場所で、自分の未知なる可能性を発見し、地球レベルの課題を解決できる人材として、世界に羽ばたいてほしいと願っています。

学長 MESSAGE

現在、世界では「持続発展可能な社会の実現」が求められています。東京農工大学では、農学、工学およびこれらの融合領域における教育研究を通して、将来この課題を解決できるような学生を育成しています。

東京農工大学 学長 中村暢文 NAKAMURA, Nobuhumi

1993年、大阪大学大学院理学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。オレゴン理工科大学大学院大学博士研究員、九州大学有機化学基礎研究センター講師などを経て、1998年より東京農工大学工学部講師、2012年より同大学院工学研究院生命機能科学部門教授。大学院工学研究院長、特命理事を経て、現在に至る。専門は生命工学・生物物理化学・生物無機化学。

東京農工大学憲章 (抜粋)

基本理念

「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念とする。

教育

科学技術系大学院基軸大学として、豊かな教養・高い倫理観と広い国際感覚を身につけた、共生社会を構築して人類社会に貢献できる先駆的で人間性豊かな指導的研究者・技術者・高度専門職業人を養成するとともに、その社会的輩出に貢献する。

研究

人類社会の基幹を支える農学、工学およびその融合領域に関わる基礎研究から科学技術に直結する応用研究に至る「使命志向型研究」の遂行により、卓越した新しい知の創造を推進する。また、持続可能な社会の構築に向けた、人と自然が共生するための「科学技術発信拠点」としての役割を果たす。

東京農工大学の沿革

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 1874年 | 内務省勸業寮内藤新宿出張所を設置
農事修学場(農学部創基)
蚕業試験掛(工学部創基) | 2006年 | 大学院共生科学技術研究部を大学院共生科学技術研究院に名称変更
大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部を大学院農学府、大学院工学府、大学院生物システム応用科学府に名称変更 |
| 1949年 | 東京農工大学(農学部・繊維学部)を設置 | 2010年 | 大学院共生科学技術研究院を大学院農学研究科及び大学院工学研究院に改組 |
| 1962年 | 繊維学部を工学部に改称 | 2011年 | 大学院技術経営研究科(専門職学位課程)を改組し、大学院工学府産業技術専攻(専門職学位課程)へ再編 |
| 1965年 | 大学院農学研究科(修士課程)を設置 | 2012年 | 岩手大学農学部・東京農工大学農学部共同獣医学科を設置 |
| 1966年 | 大学院工学研究科(修士課程)を設置 | 2016年 | グローバルイノベーション研究院(研究組織)を設置 |
| 1985年 | 大学院連合農学研究科(博士課程)を設置 | 2018年 | グローバル教育院(教育組織)を設置
大学院農学府に東京農工大学大学院、岩手大学大学院共同獣医学専攻(4年制博士課程)を設置 |
| 1989年 | 大学院工学研究科(修士課程)を工学研究科(博士前期・後期課程)に改組 | 2019年 | 大学院工学府に東京外国語大学、電気通信大学と本学の西東京三大学による「共同サステイナビリティ研究専攻」(博士課程)を設置 |
| 1995年 | 大学院生物システム応用科学研究科(博士前期・後期課程)を設置 | 2024年 | 創基150周年 |
| 2004年 | 国立大学法人東京農工大学に移行
大学院(農学研究科、工学研究科、生物システム応用科学研究科)を改組し、大学院共生科学技術研究部(研究組織)及び大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部(教育組織)に再編 | 2025年 | 大学院先進学際科学府(修士課程)を設置 |
| 2005年 | 大学院技術経営研究科(専門職学位課程)を設置 | | |

東京農工大学の学び

東京農工大学では、学部4年間で研究・教育を履修した後、大学院で専門分野をより深く学ぶことができます。学部から修士課程、博士課程まで続く、学びをイメージしてみましょう。

大学院農学府 Graduate School of Agriculture

博士課程（4年）

- 共同獣医学専攻

大学院連合農学研究科 United Graduate School of Agricultural Science

博士課程（後期3年）

- 生物生産科学専攻
- 応用生命科学専攻
- 環境資源共生科学専攻
- 農業環境工学専攻
- 農林共生社会科学専攻

大学院先進学際科学府 Graduate School of Advanced Interdisciplinary Science

博士後期課程（3年） ※令和9年度設置予定

- 先進学際科学専攻
 - 予測情報学コース
 - 融合科学コース
- ※設置構想中

博士課程（後期3年） ※令和9年度設置予定

- 共同先進健康科学専攻
- ※設置構想中

大学院工学府 Graduate School of Engineering

博士後期課程（3年）

- 生命工学専攻
- 生体医用システム工学専攻
- 応用化学専攻
- 化学物理工学専攻
- 機械システム工学専攻
- 知能情報システム工学専攻

博士課程（後期3年）

- 共同サステイナビリティ研究専攻
- ※西東京三大学による共同専攻

農学部 The Faculty of Agriculture

学部（6年）

- 共同獣医学科

大学院農学府 Graduate School of Agriculture

修士課程（2年） 農学専攻

- 生物生産科学コース
- 応用生命化学コース
- 自然環境資源コース
- 食農情報工学コース
- 地球社会学コース
- 国際イノベーション農学コース

修士課程（2年）

- 先進学際科学専攻
- 予測情報学コース
- 資源・エネルギー科学コース
- 食料・環境科学コース
- 健康・福祉科学コース

※現時点では設置に向けた構想中であり、内容を変更する場合があります

博士前期課程（2年）

- 生命工学専攻
- 生体医用システム工学専攻
- 応用化学専攻
- 化学物理工学専攻
- 機械システム工学専攻
- 知能情報システム工学専攻

専門職学位課程（2年）

- 産業技術専攻

農学部 The Faculty of Agriculture

学部（4年）

- 生物生産学科
- 応用生物科学科
- 環境資源科学科
- 地域生態システム学科

工学部 The Faculty of Engineering

学部（4年）

- 生命工学科
- 生体医用システム工学科
- 応用化学科
- 化学物理工学科
- 機械システム工学科
- 知能情報システム工学科

令和9年度カリキュラム改正について

東京農工大学では、令和9年度にカリキュラム改正を予定しています。令和9年度以降に入学する方を対象に、主に以下の変更を予定しています。詳細については大学HPにて公表予定です。
※本ガイドブック記載の各学科のカリキュラムは、カリキュラム改正により変更となる可能性があります。

○卒業に必要な単位数の変更/令和9年度以降入学者について、卒業に必要な単位数を130単位から124単位に変更します。

○100分授業の導入（令和9年度以前からの在生を含む）/令和9年4月から、学期期間の確保や主体性を引き出す授業形態の導入等を目的として、1コマの授業時間を90分から100分に変更します。

○研究倫理・安全教育に関する科目の設置/研究リスク・倫理マネジメントを強化し、研究者として遵守すべき研究倫理に関する科目を設置します。

○プログラムの設置/学生の興味関心に応じて主体的に学修できるよう、例えばアントレプレナーシップや国際コミュニケーションに関する科目で構成するプログラムを設置します。

農学部

農学部は5学科から構成され、農学、生命科学、環境科学、森林科学、人文社会科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続的発展が可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに基礎的専門知識を授け、豊かな教養、高い倫理観と国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できる、先駆的で人間性豊かな人材を育成します。

学部長メッセージ



自然とともに未来をつくる農学へ

吉田 誠 YOSHIDA, Makoto

今、世界が直面する気候変動、食料安全保障、生物多様性や農村の暮らしの損失など複雑に絡み合う課題の解決策を実践的に学び、考え、実際に取り組めるのが農学部の魅力です。東京農工大学農学部では、府中キャンパスの広大な実験圃場や関東各地の演習林といったフィールド、最先端のデータサイエンスや解析技術、そして工学分野との融合など、理論と実践を往復しながら世界を牽引する研究・教育を展開しています。野生動物との共生、人獣共通感染症対策、マイクロプラスチック問題など、社会と直結するテーマにも取り組み、海外の大学・研究機関とも連携しながら、日本から世界へ、新しい農学の価値を創出しています。東京農工大学農学部から社会に、そして未来に向けて、最先端の農学研究を展開する仲間をお待ちしています。

学科名	学びのキーワード
生物生産学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 持続可能な生物生産 ■ スマート農業 ■ 土壌の健康 ■ 植物-微生物共生 ■ 植物栄養生理 ■ 植物ホルモン ■ 蚕 ■ 昆虫利用 ■ 家畜繁殖・飼養 ■ アニマルウェルフェア ■ 農業経済 ■ 国際開発
応用生物科学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 遺伝子組換え ■ 微生物 ■ 生理活性物質 ■ 糖タンパク質 ■ バイオテクノロジー ■ 昆虫 ■ 細胞外マトリックス ■ 癌細胞 ■ 免疫・アレルギー ■ 植物分子育種 ■ 食品化学 ■ ウイルス
環境資源科学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 土壌・水圏・大気汚染 ■ 生態系影響 ■ マイクロプラスチック ■ 生元素循環 ■ 環境浄化 ■ 環境計測 ■ バイオマス ■ カーボンニュートラル ■ 木造建築 ■ エコマテリアル ■ 資源リサイクル ■ 光化学・光触媒
地域生態システム学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 持続型・循環型社会 ■ 生産環境基盤・システム ■ 防災・減災 ■ 水環境保全 ■ 環境教育 ■ 地域資源管理 ■ 自然エネルギー利用 ■ 人と動物の関係 ■ 森林計画 ■ 森林生態系 ■ 河川生態系 ■ リモートセンシング
共同獣医学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医・畜産 ■ 解剖・生理 ■ 薬理・病理 ■ 公衆衛生 ■ 感染症・伝染病 ■ 動物繁殖 ■ 伴侶動物臨床 ■ 産業動物臨床 ■ 動物園・水族館 ■ 食の安全

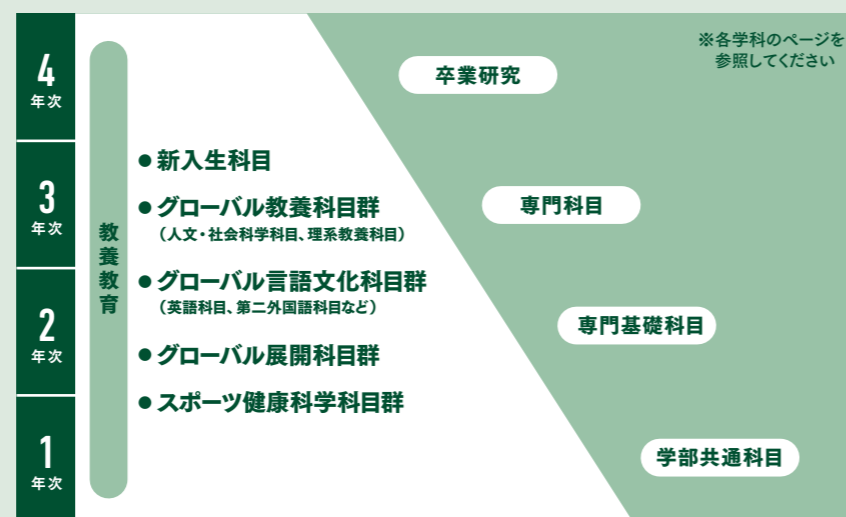
アドミッションポリシー (学生受入方針)

地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身につけた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲を持つ学生を求めます。

学びの目的・学びの特色

農学部においては、農学、生命科学、環境科学、森林科学、人文社会科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続的発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに専門の学芸を教授し、知的、道徳的および応用的能力を展開させることができる人材を養成することを目的としています。

4年間の学びの流れ (カリキュラム)



※令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、上記の内容から一部変更を予定しています。

工学部

工学部の6学科では、「バイオ/医工系」「エネルギー/環境/マテリアル系」「モビリティ/ロボティクス/コンピュータ/AI系」の3つの専門性を軸に、複数の専門領域を学べるカリキュラムを用意しています。実社会のニーズを反映した分野横断的融合研究に挑戦できる環境です。

学部長メッセージ



「無」から「有」を創り出し、社会を変革できる人材を育成する

平野 雅文 HIRANO, Masafumi

世界的にエコノミーからエコロジーへの社会変革が急激に進んでいます。東京農工大学工学部は、工学と農学領域の融合によって、食料・カーボンニュートラル・エネルギー・ロボティクス・AI・ライフサイエンスなど時代のニーズを反映した地球規模の課題解決に取り組んでいます。工学部は実学の府でありながら、基礎研究にも力を入れており、学理の解明から社会実装に至るスケールの大きな教育・研究に携わることができる点も魅力だといえます。ここで学友と互いに切磋琢磨し合いながら学問の本質に触れ、「無」から「有」を創り出す経験をしてほしい。そして、自らの研究成果によって社会を変革できる人材を育成していきたいと考えています。

アドミッションポリシー (学生受入方針)

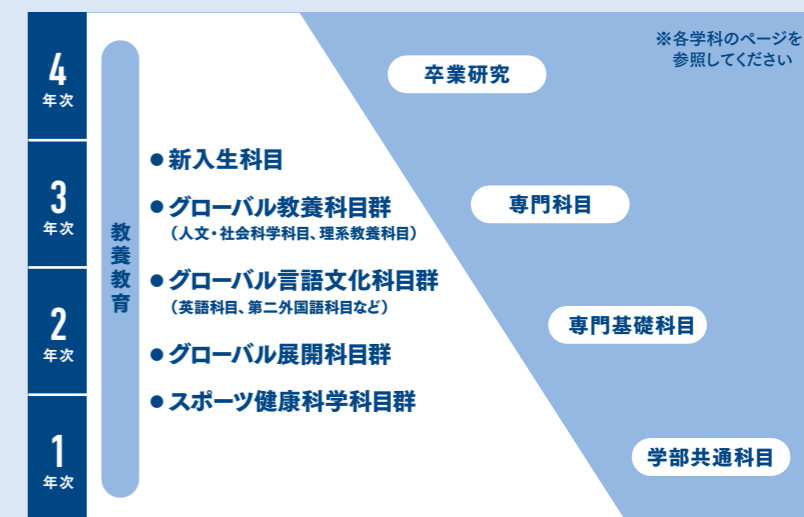
大自然の真理に対する探究心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、身につけた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、持続可能な社会の実現に立ち向かう意欲を持った学生の入学を希望します。

学びの目的・学びの特色

工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎および専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、そして、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供します。主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性を有するだけでなく、人類が直面している諸課題に対して、多面的に考察して判断し、他者と協働して課題解決に取り組む人材を養成することを目的としています。

学科名	学びのキーワード
生命工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再生医療 ■ バイオインフォマティクス ■ バイオセンサー ■ 抗体工学 ■ 創薬化学 ■ 植物工学 ■ 核酸工学 ■ バイオナノマテリアル ■ マリンバイオテクノロジー ■ バイオ燃料電池
生体医用システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医用超音波 ■ 医用光・電子デバイス ■ 生体機械 ■ 生体物理 ■ 生体機能材料 ■ バイオメディカルフォトリクス ■ ロボット計測システム ■ 3次元画像 ■ 光応用計測 ■ 生体高分子
応用化学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有機合成化学 ■ 分子エレクトロニクス ■ バイオマテリアル ■ 有機金属化学 ■ 電気化学 ■ 半導体化学 ■ 分子触媒化学 ■ グリーンケミストリー ■ 高分子合成化学 ■ ナノ医療
化学物理工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 化学工学 ■ 物理工学 ■ エネルギー変換 ■ 低環境負荷・高効率生産システム ■ 新素材創製 ■ 光エレクトロニクス ■ 量子技術・ナノ材料 ■ 環境技術・計測デバイス ■ 大規模シミュレーション
機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボティクス ■ スマートモビリティ ■ 航空宇宙工学 ■ 熱流体工学 ■ 生産システム ■ 先端材料 ■ 知能機械 ■ マイクロ・ナノシステム ■ 計算工学
知能情報システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人工知能 ■ 信号処理 ■ バーチャルリアリティ ■ モーションコントロール ■ 電磁波 ■ 通信工学 ■ 計算機ネットワーク ■ パターン認識 ■ 計算機アーキテクチャ ■ マイクログリッド

4年間の学びの流れ (カリキュラム)



※令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、上記の内容から一部変更を予定しています。



農業をあらゆる角度から研究し、人類を支える「食」の明日を担う生物生産学科。農業生産は環境の保全にも重要な役割を果たしており、再生可能なバイオマスエネルギーの供給源としても期待されています。

定員

57名

研究室 PICKUP



助教 | 中嶋紀寛
NAKAJIMA, Noriaki

放牧が家畜にもたらす効果を科学的に明らかにする

家畜を放し飼いにする「放牧」はさまざまな側面で良い効果があるとされ、各地で実践されています。しかし、実はその具体的な効果はほとんど明らかになっていません。そこで私の研究では、放牧地における家畜の行動や健康状態を調査。科学的な根拠に基づいて放牧の効果を示し、畜産や土地の有効活用に役立てることを目指しています。重視しているのは、現場の常識となっている従来の慣習を疑うということ。例えば、牛の餌は牧草を購

入するか自分たちで栽培するのが一般的ですが、私の研究では野草を活用した飼育方法を検討しています。畜産業の根本的な価値は、家畜を介することによって、人間が食べられないものを食べられるように変換することだと考えています。その価値を効率的に高めることが、畜産における持続可能性の向上につながります。今後も持続可能な放牧システムを構築することを見据えた研究に取り組み、畜産業界の変革に貢献したいと思います。

本学科が目指すもの



農産物の生産から消費まで、人と自然を結びつける「農の営み」に関連する学問分野を幅広くカバーし、日本および世界の農業を広く深く理解するとともに、農業に関わる最先端の科学と技術に関する知識を身につけます。そして、その知識を国内外農業の持続的発展、農産物の流通・加工・消費、農業の多面的機能の積極的利用などに活かすことのできる人材の養成を目指しています。

カリキュラム

遺伝・発生・酵素反応など生物学の基礎から、光合成・養分吸収など生物生産機能の解析、群落構造・家畜飼養管理など生産プロセスの解析と技術開発、生産物の品質評価、生産物の流通・消費シナリオなど、多岐にわたる内容が体系的に構成されています。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

学年	専門科目			
	学科共通科目	生産環境系科目	植物生産系科目	動物生産系科目
4年次	卒業論文			
3年次	農業微生物学 農産物製造学 生物生産学英語入門 アグリバイオ実験 学外実習(農家) 学外実習(研究所) 卒業論文	土壌環境学 作物保護学	園芸学II 植物育種学	家畜飼養学 家畜繁殖学 家畜育種・管理学 蚕糸学 昆虫利用学 家畜衛生学
2年次	生化学 農業分野専攻実習 生物生産学実験基礎	土壌学 植物栄養・肥料学	植物生態生理学 作物学 園芸学I	農業昆虫学I 家畜形態・生理学 農業昆虫学II
1年次	生物生産学原論 情報処理・生物統計学	作物栽培学 フィールド実験実習I フィールド実験実習II	植物生理学 植物分子遺伝学	畜産学総論

学年	専門科目	
	農業経営経済系科目	新領域科目
4年次		生物生産学特別講義I 生物生産学特別講義II 天然物有機化学 有機合成化学 微生物生化学
3年次	農業市場学 国際農業開発論 農業数量経済分析 農業資源経済学 農業経営経済学総合演習 農村社会調査実習	生物生産学特別講義I 生物生産学特別講義II 食料リスクアナリシス 遺伝子細胞工学
2年次	農業経済学 農業経営学 食料システム経済学	
1年次		

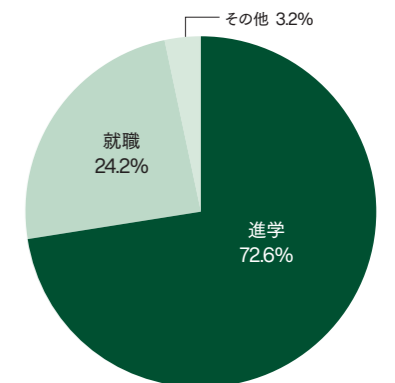
生物生産学科の学び

生産環境系	農業生産技術学/土壌学/植物栄養学/国際生物資源学
植物生産系	園芸学/作物学/植物育種学/遺伝子細胞工学
動物生産系	畜産学/動物生化学/昆虫機能生化学/蚕学
農業経営経済系	農業経済学/農業経営・生産組織学/農業市場学/国際地域開発学

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 博物館学芸員

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- 農林水産省
- 東京都
- 北海道
- 日清フーズ
- 日本アクセス
- ヤンマーホールディング
- 湘南ゼミナール
- 日清オイリオグループ
- タイヘイ
- サカタのタネ
- クボタ化水
- リーフス
- スガノ農機
- よつ葉乳業 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
- 東京大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP.42へ

STUDENT VOICE
地元の特産品「市田柿」の生産現場をフィールド調査

学生の声



熊谷千尋
KUMAGAI, Chihiro
大学院農学府農学専攻
地球社会学コース修士課程1年
長野県飯田高等学校出身

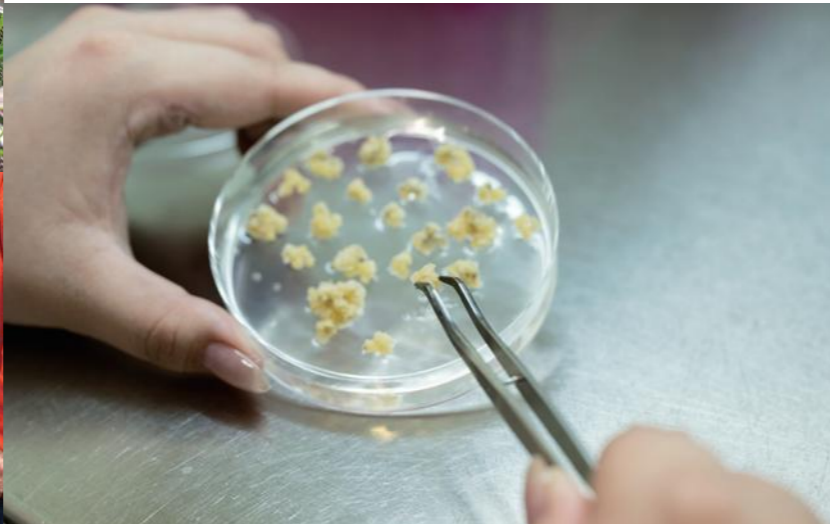
研究対象は、地元である長野県南信州地域の特産品「市田柿」です。この干し柿の生産・加工・販売を誰がどのように行っているかを調査して、農産物が地域農業・地域経済においてどのような意義を持っているかを明らかにしたいと考えています。これは、「農業経済学」と呼ばれる農業を経済学の視点で分析する学問分野の研究で、フィールドワークで現場の声を聞くことにより、農業を営む人それぞれの境遇や現状など、統計だけではわからないこともリアルに知ることができる点に面白さを

感じています。研究に関わる農業は、稲、野菜、果樹、家畜と実にさまざまなため、生産者にヒアリングする際は、それぞれの農産物に関する深い知識が必要になります。今回の市田柿の調査では、柿の集荷から加工、販売までを担う企業が現れたこと、それらを含む地域全体とした協力関係が特産品の安定的な生産と拡大に貢献していることがわかりました。こうした地域における農業の在り方を研究して、各地域の農業の担い手づくりにつなげるのが今後の目標です!

APPLIED BIOLOGICAL SCIENCE
応用生物科学科



「生命」に未知の可能性を求めて
人類の発展に貢献する



化学と生物学を基盤とし、分子から細胞、個体、さらにはその相互作用まで一連の現象を解明・応用することで「生命」の未知なる可能性を解明し、人類に有益な生命科学の発展に貢献することを目的として研究を行っています。

定員

71名

研究室 PICKUP



准教授 岩上 哲史
IWAKAMI, Satoshi

環境に適応して生存する雑草の進化メカニズムに迫る

作物栽培の歴史は、人間と雑草のバトルの歴史でもあります。人間は農耕地から雑草を排除するために、さまざまな技術を開発してきました。それに対して雑草は人間による防除をすり抜ける性質を進化させ、農耕地という強いストレス環境下で生存し続けています。これまでに人間が生み出した最も効果的な雑草防除技術が除草剤です。除草剤は、作物と雑草の小さな違いを巧妙に突くことで、雑草のみに致死的に作用するようにデザインされています。しかし、雑

草はこれに対抗するように除草剤に対する抵抗性を進化させてきました。こうした除草剤抵抗性雑草は日本を含む世界各地で多数見つかっています。中にはこれまで使用したことのない除草剤に対しても抵抗性を示す雑草も出てきており、現代農業における深刻な問題となっています。私たちは、雑草の適応進化のしくみを雑草のゲノムや遺伝子の解析から明らかにし、持続可能な食料生産を支える基盤を築くことを目指しています。

本学科が目指すもの



微生物、動物、植物などの生命機能を、化学・生物学を基盤として深く探究・理解することを目指します。バイオテクノロジーでは、バイオサイエンスの成果を食品・医薬・農薬をはじめとする生活関連有用物質の高度な生産に適用することを目標としています。バイオサイエンスとバイオテクノロジーの分野で活躍するための教育を行い、人類の発展に貢献できる人材を育成します。

カリキュラム

化学と生物学を基盤として分子レベルから個体群に至る一連の生命現象を理解することで、ライフサイエンスの発展に貢献するとともに社会的ニーズに応えられる人材の育成を目的としています。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

学年	学科専門科目	学部共通専門科目
4 年次	生物統計学 科学英語論文演習Ⅰ 科学英語論文演習Ⅱ 卒業論文	国際展開力科目Ⅰ 国際展開力科目Ⅱ 共通科目 海外研修科目 国際農学科目
	生体高分子化学 遺伝子工学 応用微生物学 食品化学Ⅱ 栄養化学 植物病理学 応用昆虫学 細胞工学 植物工学	食品工学 食品製造学 食品衛生学 農薬科学 応用生物科学専門実験Ⅱ 応用生物科学専門実験Ⅲ 応用生物科学専門実験Ⅳ 応用生物科学専門実験Ⅴ 応用生物科学専門実験Ⅵ
3 年次	有機化学Ⅲ 生化学Ⅱ 分析化学 分子細胞生物学 動物生理学 有機合成化学 微生物生化学 天然物有機化学 機器分析化学 食品化学Ⅰ 生物相関学 バイオロジカルコントロール 応用生物科学共通実験Ⅰ 応用生物科学共通実験Ⅱ 応用生物科学専門実験Ⅰ	
	情報処理学 有機化学Ⅰ 生化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 分子生物学 植物生理学 植物保護学 農場実習	
2 年次		
1 年次		

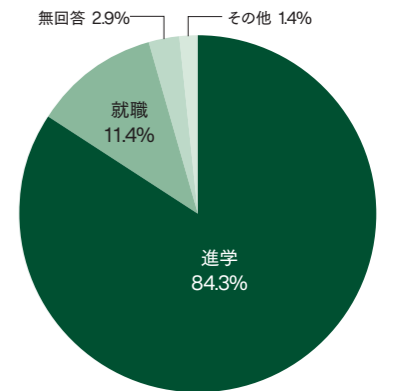
応用生物科学科の学び

分子生命科学	生物化学/遺伝子機能制御学/発酵学/植物工学/遺伝子工学/動物細胞生物学
生物機能化学	生物制御化学/生体情報化学/生物有機化学/食品化学/栄養生理化学/応用蛋白質化学/食品機能学/応用植物生化学
生物制御学	植物病理学/応用昆虫学/応用遺伝生態学/分子環境生物学/細胞分子生物学/相関分子生物学/核酸生物情報学

取得できる免許・資格

- 食品衛生監視員（任用資格）
- 食品衛生管理者（任用資格）
- 中学校教諭1種免許（理科）
- 高等学校教諭1種免許（理科・農業）
- 博物館学芸員

卒業後の進路状況（2024年度実績）



学部卒業後の主な就職先

- 農林水産省
 - 経済産業省
 - 森永製菓
 - 協和発酵キリン
 - 日本たばこ産業
 - 中外製薬
 - 東京化成工業
 - カネボウ化粧品
 - 資生堂 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 東京大学大学院
 - 京都大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP.42へ

学生の声



中ノ森月菜
NAKANOMORI, Runa
大学院農学部農学専攻
生物生産科学コース修士課程1年
東京都立西高等学校出身

ヒメタイヌビエが獲得した除草剤解毒機構を解明する

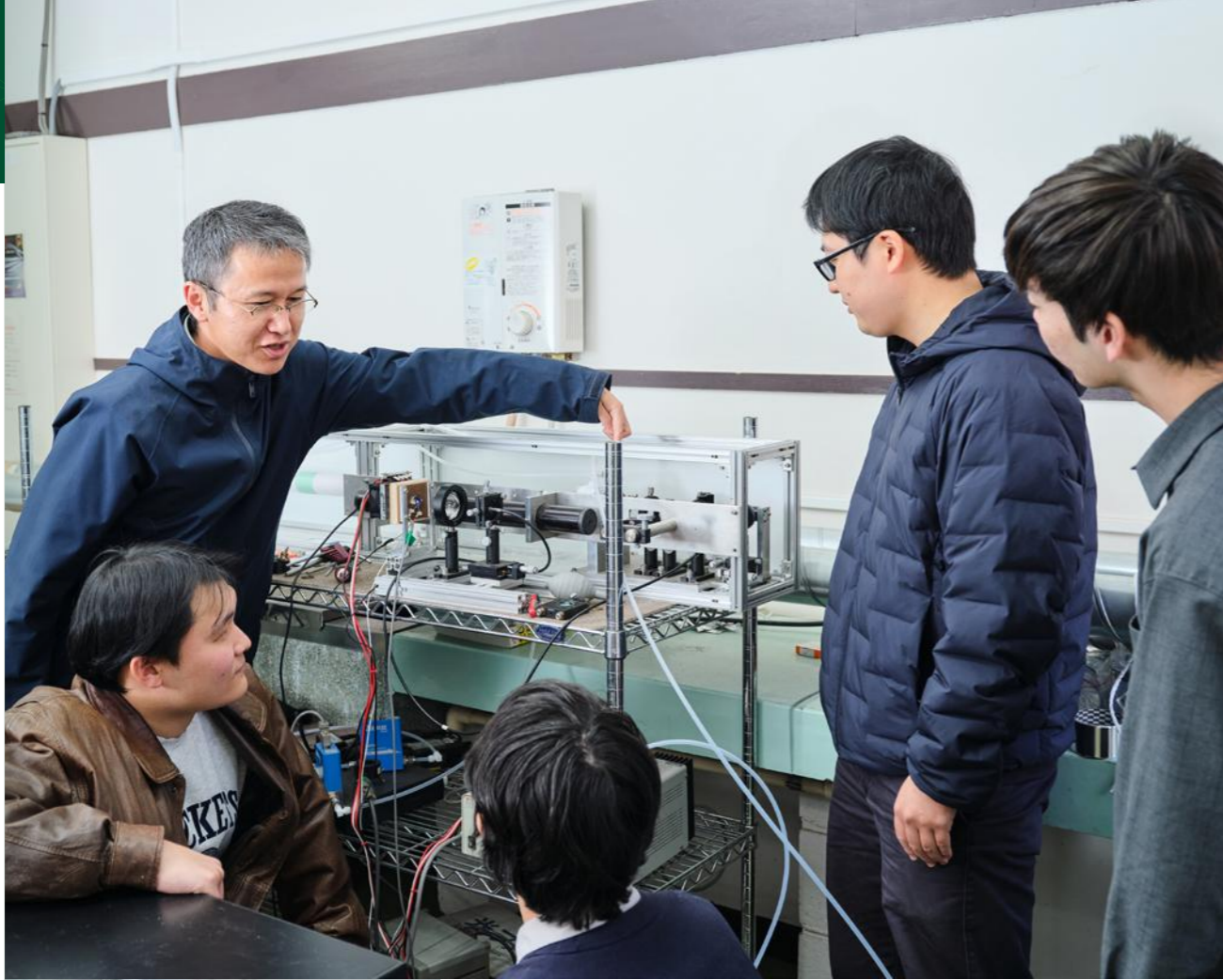
所属する生物制御化学研究室は、雑草の適応進化について研究をしています。中でも私は、ヒメタイヌビエが獲得した除草剤抵抗性のしくみについて調べています。ヒメタイヌビエは水田で問題となる大型雑草で、蔓延すると稲作に大きな被害をもたらします。通常は除草剤を使って防除しますが、私が研究対象としているヒメタイヌビエは、除草剤を素早く解毒する能力を獲得したため、除草剤が効かず防除が難しくなっています。このしくみを遺伝子レベルで解明するた

め、遺伝子の働きを調べる実験を繰り返しています。もともと私は食品開発に興味があり、応用生物科学科に進学しました。そして、入学後に分子生物学や遺伝子工学に興味を持ち、現在の研究室に所属しました。プログラミングを使った解析手法を習得するなど、研究を通して将来の可能性が大きく広がっています。大学院でもこの研究を続け、発見した知見を社会実装して、日本の農業の課題解決につなげることが今後の目標です！

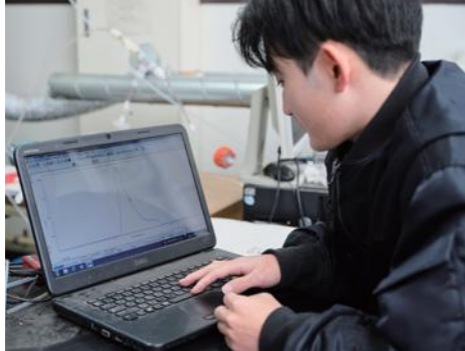
生物学、化学、物理学、地学など、環境と資源の問題に科学のメスを入れる「地球の医学」を学びます。地球からミクロの世界まで、ヒトを取り巻く「環境」の研究を通じて、循環型社会の構築に貢献していきます。

定員

61名



環境と資源の問題にメスを入れる「地球の医学」を学ぶ



研究室 PICKUP



教授 | 中嶋吉弘
NAKASHIMA, Yoshihiro

研究室で自作した計測装置で大気微量成分を観測する

私の研究室の専門分野は「大気化学」です。大気汚染や温室効果ガスなどの「大気微量成分」の観測を幅広く行っています。中でも、野焼きや山林火災などのバイオマス焼却に伴う大気微量成分の排出評価に最も取り組んでいます。バイオマスの種類、構成部位や成分などにより、大気微量成分がどのように変動するかを観測し、大気質の評価を進めています。ほかにも東京環境科学研究所などとの共同で大気微量成分である窒素酸化物や炭化水素の光化

学反応による光化学オキシダントの生成過程解明のための基礎研究、国立環境研究所との共同で府中キャンパスにフーリエ変換赤外分光計 (FT-IR) を設置し、府中市周辺の温室効果ガスの長期変動を計測する研究なども行っています。大気微量成分を計測する装置は、すべて研究室で自作しています。自分たちで開発した装置でリアルタイム観測ができるのもこの研究室の特色です。大気分析のスキルを身につけた卒業生たちは、環境に関する幅広い分野で活躍しています

本学科が目指すもの



環境問題は、人類すべてに共通する深刻な課題です。限りある化石燃料に依存した大量生産、大量消費、大量廃棄によって支えられてきた私たちの豊かさは、21世紀初頭の今、曲がり角を迎えています。環境資源科学科では、これからの人類が地球環境と調和して持続的に生きていくための環境資源科学を推し進め、環境問題の解決や循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

カリキュラム

環境問題に対して、社会的ニーズに即した理解・行動ができる人材を育成します。環境と資源の広範囲な問題を対象とした生物学、化学、物理学、地学を基礎として広い知識を習得し、実験・実習・講義を組み合わせた多彩なカリキュラムで学びます。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

学年	専門科目	
	学科基礎科目	学科専門科目
4 年次		科学英語論文講読 卒業論文
3 年次	代謝生化学 機器分析学I 水溶液化学 資源高分子物理学 環境資源有機化学 木質資源物理学 樹木生態生理学 微生物生理生態学 森林実習 機器分析学II 環境情報解析学 環境気候学 環境資源科学実験III(生物学応用) 環境資源科学実験IV(地学)	生分解学 森林資源利用学 森林資源形成学 環境植物学 紙パルプ科学 住環境構造学 ライフサイクルアセスメント 資源分解・廃棄学 森林・林業論 環境アセスメント学
2 年次	環境資源熱力学 森林資源科学 環境資源科学実習B 物質生化学 資源材料力学 化学結合論 環境資源科学実験I(物理学応用) 環境資源科学実験II(化学応用)	大気化学 木質資源化学 陸水環境学 環境毒理学 資源高分子化学 植物組織形態制御学 エコマテリアル学 環境土壌学 環境汚染化学 環境微生物学 生態系生態学 環境分子生物学 環境資源科学特別講義I 環境資源科学特別講義II 環境資源科学特別講義III 環境資源科学特別講義IV
1 年次	情報処理学 地球化学 生態系管理学 環境資源科学実習A 環境分析化学 環境計測学	住環境学 資源リサイクル学 地圏環境学 大気環境学 海洋環境学

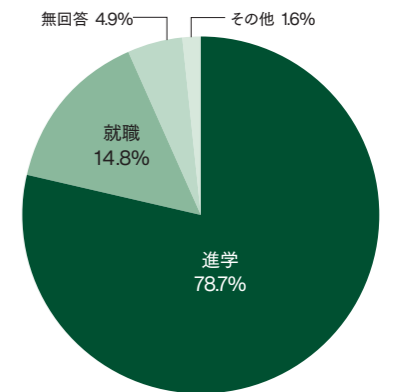
環境資源科学科の学び

環境物質科学/環境汚染解析/生物圏変動解析/環境修復/植物環境/生活環境/バイオマス・リサイクル

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 博物館学芸員

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- 東京都
- 埼玉県
- 千葉県
- 横浜市
- 特許庁
- 農業・食品作業技術総合研究機構
- 全国農業協同組合連合会
- 東京中央農業協同組合
- 長野森林組合
- 北越コーポレーション
- 清水建設
- 大東建託
- 内田洋行
- クボタ環境サービス
- 中外テクノス
- 石垣
- アジア航測
- 日立製作所
- 富士通 など
- 進学
- 東京農工大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP42へ

LABORATORY

STUDENT VOICE

学生の声



杉怜奈
SUGI, Rena

大学院農学府農学専攻
自然環境資源コース修士課程1年
東京都立国立高等学校出身

スギ樹木の「放射柔細胞」が担う役割を解明する

研究対象はスギ樹木の「放射柔細胞」です。「放射柔細胞」は、樹木の外側から髄方向に向かって放射状に並び、辺材中では生存していますが、心材中では死細胞になっています。私は放射柔細胞の細胞死のタイミングと樹木が横方向に太る「肥大成長」の速度の関連性を調べています。放射柔細胞の調査データは、樹木によるCO₂吸収、木質資源利用の効率化などの研究で役立つ可能性があり、カーボンニュートラルや脱炭素化にも貢献できると考えています。

環境に関するさまざまな問題に関心があり、環境資源科学科を選びましたが、化学、物理学、生物学、地学などを幅広く学びながら、自分に合った研究テーマを見つけられるこの学科のカリキュラムは自分にぴったりでした。また、在学中にインドネシアの大学への留学も経験し、視野を広げることができました。研究の目標は、日本の夏場の気温を下げるために自分にできる「何か」を探すことです。将来はグローバルなフィールドで、世界規模の環境改善に取り組む仕事をしたいです!

地域生態システム学科

ECOREGION SCIENCE

森林、農村、都市などを含む空間をひとつの「地域」として捉え、そこに広がる生態系や生産・社会に着目した新しい研究を展開。自然環境と人間社会の生産活動が共存する地域環境空間の設計に挑戦します。



生態系と資源の保全のために地球規模で考え、地域で行動する



本学科が目指すもの



生態系と資源の保全・管理・活用などさまざまな問題を解決する社会の在り方と考え、野生動物や自然植生、森林・緑地・農地、農林業や農山村文化の新しい役割、人間と自然の調和を地域から地球的スケールで考えることを目的としています。広い視野で、実際のフィールドに立って問題を研究し、ボトムアップ型の思考でその解決を図ることのできる人材の育成を目指します。

カリキュラム

自然・応用科学から人文・社会科学にわたるさまざまな科目群をパッケージとして提示しています。そのパッケージの積み上げによって専門性を深めたうえで、学生一人ひとりの個性に合わせた教育を行い、さらに多彩な実習による実践的学習も可能にしています。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

学年	専門科目			
	学科共通科目	パッケージ科目・推奨科目	実験・実習科目	
4 年次	地域生態システム学特別演習II 地域生態システム学特別演習III インターンシップ 卒業論文	持続的森林管理論 作物栽培学		
3 年次	地域生態システム学セミナー 地域生態システム学特別演習I インターンシップ	比較心理学 農村社会学 健康アミニティ論 動物環境生理学 リモートセンシング論 森林施設工学 砂防工学 森林立地学 農地環境工学 環境地盤工学 生物生産環境学 農用原動機学 野生動物管理技術論 熱工学 力学II 農環境物理学 環境教育学	環境倫理学 山地行動学 国際協力論 農業市場学 景観生態学 森林施業論 森林政策学 木質資源利用学 ライフサイクルアセスメント 環境アセスメント学 農産プロセス工学 灌漑排水工学 生態水理学 共生社会思想 国際農林開発論 森林保護学 植生管理学	育林学実習 山地保全・砂防計画学実習 樹木学実習 農業環境工学実験 農業環境工学実習 農村地域計画学演習 野生動物保全学実習 比較行動学実験・実習 森林保護・樹木医学実習 森林土壌学実験・実習 森林生産システム学実習 農業環境工学演習 農業環境工学設計
2 年次	地域生態システム学III インターンシップ	測量学 森林生態学 水文学 環境土壌物理学 農業経済学 造園学 自然誌学 空間情報学 土壌生態管理学 森林計画学 山地保全学 森林生産システム学 地域社会調査法 GISの基礎と演習 樹木学 力学I	土質力学 水理学 農村地域計画学 農業技術論 応用解析・情報学 環境哲学 環境文化史 環境公法 環境経済学 農業経営学 動物生態学 共生福祉論 野生動物保全学 環境生理生態学	基礎測量学実習 地域社会システム調査実習 森林計画学実習 空間情報学実習 山地測量学実習 植生管理学実習 自然体験活動実習 学部共通専門科目
1 年次	地域生態システム学I 地域生態システム学II 地域生態システム学実習I 地域生態システム学実習II フィールド安全管理学 情報処理学	生物多様性保全学 水資源管理論 地域社会システム計画論 人と動物の関係論 動物福祉論		

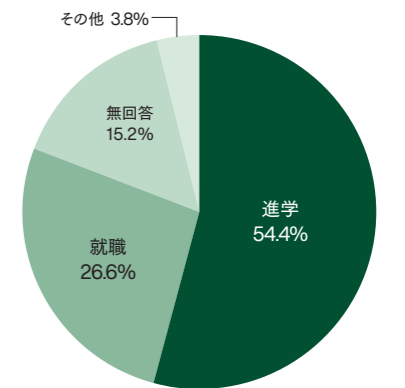
地域生態システム学科の学び

生態系保全学	景観生態学/野生動物保護管理学/植生管理学/健康アミニティ科学/FSセンター野生動物保護管理
森林科学	森林土壌学/森林生態学/森林生物保全学/森林水文学/森林環境工学/森林-人間系科学/森林計画学/森林利用システム学/森林資源管理学/山地保全学/森林-水圏生態学
農業環境工学	生産環境システム学/生産環境制御学/地水環境工学/耕地栽培システム学/エネルギー利用学/農村地域計画学/農業情報工学/水資源計画学/地域空間情報学/水利用学/施設構造工学
共生持続社会	環境哲学/農村社会学/比較心理学/環境文化史/環境公法学/国際関係学/環境情報科学/環境教育学/共生福祉論

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 測量士補
- 測量士(要実務経験)
- ビオトープ管理士
- 自然再生士補
- 森林情報士
- 自然体験活動指導者
- 樹木医補
- 博物館学芸員 など

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- 農林水産省
 - 国土交通省
 - 環境省
 - 林野庁
 - 東京都
 - 農業生産法人こと京都エルゴテック
 - 独立行政法人都市再生機構
 - エコラボ合同会社
 - エーコープ関東
 - 大和証券
 - アニコム損害保険
 - NTCコンサルタンツ など
- 進学
● 東京農工大学大学院
● 京都大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP.42へ

LABORATORY

データを駆使して、生物多様性の保全を推進する

研究室 PICKUP



教授 | 赤坂 宗光
AKASAKA, Munemitsu

生物多様性の保全のために「どこ」で「何を」すべきかを多様な方法と学際的な視点で検討しています。用いる手法やツールは、生態調査、アンケート調査、人流データ解析、空間データ解析など。各種データを駆使した科学的なアプローチを用いるのが特徴です。「景観生態学」と呼ばれる研究分野になります。フィールドワークでは、高山域で登山者に対するアンケート調査を行うと同時に、靴の付着物を採取し、そこに含まれる種子の発芽実験を行ったりします。室内実験と屋外調査を組み合わせた研究は特色のひとつです。また、ドローンで撮影した画像を用いた植物分布の分析などにも取り組んでいます。生物多様性の保全を推進する方法を学びながら、統計分析や空間データ分析のスキルも鍛えることができます。

生物多様性の保全のために「どこ」で「何を」すべきかを多様な方法と学際的な視点で検討しています。用いる手法やツールは、生態調査、アンケート調査、人流データ解析、空間データ解析など。各種データを駆使した科学的なアプローチを用いるのが特徴です。「景観生態学」と呼ばれる研究分野になります。フィールドワークでは、高山域で登山者に対するアンケート調査を行うと同時に、靴の付着物を採取し、そこに含まれる種子の発芽実験を行ったりします。室内実験と屋外調査を組み合わせた研究は特色のひとつです。また、ドローンで撮影した画像を用いた植物分布の分析などにも取り組んでいます。生物多様性の保全を推進する方法を学びながら、統計分析や空間データ分析のスキルも鍛えることができます。

学生の声



小林 千夏
KOBAYASHI, Chinatsu
大学院農学府農学専攻
自然環境資源コース修士課程2年
東京都立三田高等学校出身

外国人登山者の外来植物持ち込みの実態を調査

研究テーマは、「ヒトによる外来植物の意図しない持ち込みの実態把握」です。外来植物の種子は、ヒトの靴や衣類に付着して移動することがあります。中でも登山者は、自然地域の奥深くに外来植物を持ち込む可能性が懸念されています。そこで私は、海外からのインバウンド登山者の外来植物持ち込みの実態を明らかにしようと考え、富士山五合目でアンケート調査を行いました。

質問内容は主に登山靴の使用履歴や外来生物に対する考え方について。登山靴の付着物を採取し、研究室に持ち帰って分析および発芽実験も実施しました。外来植物は持ち込まれた先で、在来植物の存在を脅かすほか、景観の価値低下などの経済被害も引き起こします。今後も国際的な生態系保全に貢献するための調査や実験に取り組んでいきます。

共同獣医学科
COOPERATIVE DEPARTMENT OF VETERINARY MEDICINE



動物と人の未来のために
高度獣医療技術を習得する



伴侶動物の健康と福祉の向上、野生動物の保護などを通じて、人間の健康や心の豊かさ、生活環境にも深く関わっています。共同獣医学科では、動物の疾病の治療や予防、その研究を通じて生命科学の進歩に貢献しています。

定員

35名 6年制

研究室 PICKUP



准教授 濱部理奈
HAMABE, Lina

「腫瘍循環器学」という医療分野の研究を行っています。これは、心疾患とがんの間に存在する因果関係を明らかにすることを目的とした研究です。特に心疾患ががんの進行に与える影響の解明、がんが心疾患を悪化させるメカニズムの解明が目標となります。近年、犬・猫などの長寿命化が進み、動物医療の現場でも心疾患とがんが増加し、両方を併発する

犬・猫の心疾患と
がんの相互作用を調べる

症例も増えています。そこで、これらの疾患を早期診断するための心臓超音波検査や血液検査の手法、抗がん剤治療による心疾患への悪影響などについて研究を行っています。東京農工大学は、動物医療センターがあることから、臨床に基づいた研究テーマをより深く追究できるところが強みです。研究成果を臨床にフィードバックすることが目標です。

本学科が目指すもの



岩手大学と緊密な教育連携を行い、平成24年度から東日本の獣医学拠点として共同獣医学科に改組しました。現在、東京農工大学には「動物医療センター」と「感染症未来疫学研究センター」、岩手大学には「動物病院」と「動物医学食品安全教育研究センター」があります。家畜衛生や公衆衛生分野における獣医師養成と、高度獣医療技術の習得を目指しています。

カリキュラム

ベースとなる動物の疾病の診断・治療と予防を学び、関連領域の知識や技術を習得。その後、学年が進むにつれて臨床・応用科目へと進んでいきます。5年次からは、少人数制の研究室に所属し卒業論文制作と、獣医師国家試験合格を目指します。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

学年	専門教育科目			
	基盤獣医学科目	実証獣医学科目	選択科目	専修科目
6年次			インターンシップ 海外実習	卒業研究
5年次	内分泌病・皮膚病学 代謝病・中毒学 血液免疫疫病学 神経病・運動器病学 泌尿器病・生殖器病学 臨床薬理学 臨床腫瘍学 臨床栄養学 画像診断学 画像診断実習	眼科学 総合参加型臨床実習I 総合参加型臨床実習II 総合参加型臨床実習III 総合参加型臨床実習IV 大動物臨床実習・基礎編 大動物臨床実習・応用編 総合参加型臨床実習V 総合参加型臨床実習VI 公衆衛生実践実習	インターンシップ 海外実習	卒業研究
4年次	獣医事法規 動物感染症学 家畜疾病学 魚病学 動物病理学各論B(他臓器・組織) 病理学実習II 毒性学 毒性学実習 食品衛生学 食品衛生学実習 公衆衛生実践実習	呼吸器病・循環器病学 消化器病学 麻酔学・手術学 軟部外科学 小動物内科学実習・基礎編 小動物内科学実習・応用編 小動物外科学実習・基礎編 小動物外科学実習・応用編 動物行動治療学 繁殖機能制御学 臨床繁殖学 繁殖機能制御学実習 臨床繁殖学実習 産業動物臨床学I 産業動物臨床学II 馬臨床学	食品安全管理学 動物病院経営学 インターンシップ 海外実習	獣医学演習
3年次	内分泌学 獣医代謝生化学 生化学実習 基礎薬理学 統合薬理学 薬理学実習 病原微生物学 微生物学実習II 免疫学 原虫・原虫病学 蠕虫・蠕虫学・衛生動物学 寄生虫学実習	動物病理学総論 動物病理学各論A (主要臓器) 病理学実習I 公衆衛生学総論 疫学 人獣共通感染症学 環境衛生学 公衆衛生学実習 動物衛生学 動物衛生学実習 野生動物学 公衆衛生実践実習	内科学総論 外科学総論 臨床病理学	インターンシップ 海外実習 動物品種論 国際感染症制御学
2年次	運動器・神経系解剖学 内臓・脈管系解剖学 解剖学実習 組織学 組織学実習 統合生理学 器官制御生理学 生理学実習	獣医遺伝育種学 動物行動学 実験動物学 実験動物学実習 基礎放射線学 獣医基礎生化学 微生物学総論 微生物学実習I	人と動物関係学 動物園動物学	
1年次	獣医学概論 獣医倫理 発生物学			

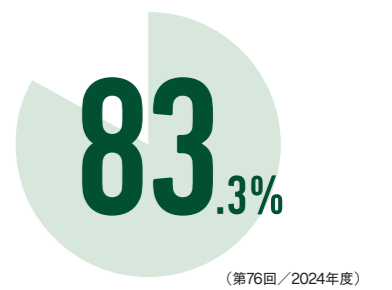
共同獣医学科の学び

基礎獣医学	獣医解剖学/獣医生理学/動物行動学/ 獣医薬理学
病態獣医学	獣医病理学/獣医微生物学/獣医伝染病学
応用獣医学	獣医毒性学/獣医衛生学/獣医公衆衛生学
臨床獣医学	獣医内科学/獣医分子病態治療学/ 獣医外科学/獣医画像診断学/獣医臨床 繁殖学/獣医臨床腫瘍学/比較動物医学

取得できる免許・資格

- 獣医師国家試験受験資格
- 食品衛生監視員(任用資格)
- 食品衛生管理者(任用資格)
- 環境衛生監視員(任用資格)
- 飼料製造管理者(任用資格) など

獣医師国家試験合格率



(第76回/2024年度)

学部卒業後の
主な就職・進学先

- 厚生労働省
- 農林水産省
- 埼玉県
- 茨城県
- 横浜市
- 特別区競馬組合
- 大正製薬
- 興和
- 生化学工業
- 科研製薬
- アステラス製薬
- 東レ
- オリナス
- ヤクルト本社
- アニコム損害保険
- 日本中央競馬会
- 阪大微生物病研究会 など

- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 東北大学大学院
 - 大阪大学微生物病研究所 など

2024年度実績など詳しくはP42へ

LABORATORY PICKUP

STUDENT VOICE

学生の声



河上恵大
KAWAKAMI, Keita
農学部共同獣医学科6年
広島市立基町高等学校出身

飼い主さんに信頼される小動物臨床医になりたい

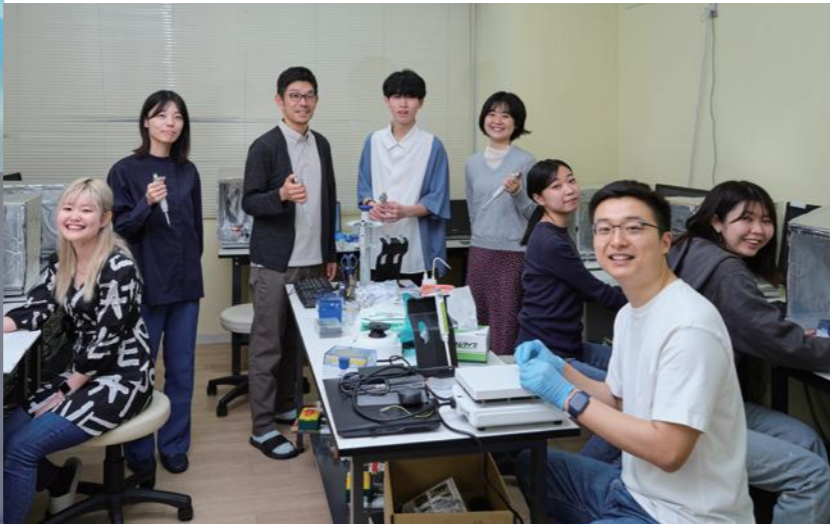
幼少の頃から動物が好きで、動物園獣医師になるのが夢だったため、共同獣医学科を目指しました。東京農工大学を選んだのは、2つの附属動物医療センターがあり、小動物臨床の豊富な症例を身近に見ながら学べる事に魅力を感じたからです。入学後、動物医療センターで実際に犬や猫の治療を行う先生の姿を見て、小動物臨床医になりたいという気持ちが強くなっています。学科の学びで印象に残っているのは、4年次の外科実習で、実際にイヌの避妊去勢手術を経験した

ことです。麻酔モニターの見方、手術の緊張感など多くのことを学ぶことができました。5年次からは、「総合参加型臨床実習(ポリクリ)」が始まり、動物医療センターで実際の治療を現場で学ぶ機会も増えています。授業で学んだ内容を実際に症例として目にする事で、知識と体験が結びつく瞬間に獣医学の面白さを実感します。難しい症例に挑むために学び続けられる獣医師になるのが将来の目標です。飼い主さんに信頼される小動物臨床医になりたいと思っています。

BIOTECHNOLOGY AND LIFE SCIENCE
生命工学科



健康社会に貢献する
先端生命工学研究に挑む



科学、生命科学、工学などの分野が融合した世界最先端の生命科学研究を行っています。日本の大学で初めて設置された生命工学科であり、生命現象の仕組みを理解し、それを応用して暮らしに役立つものを生み出すことを追究し続けています。

定員

81名

研究室 PICKUP



教授 | 川野 竜司
KAWANO, Ryuji

細菌サイズの「分子ロボット」を医療分野で応用する

合成生物学を基盤とした「分子ロボット」の開発に取り組んでいます。合成生物学は、タンパク質や脂質などの生体分子を化学的に合成し、細胞などを取り出す学問分野です。この知見を用いて、細菌サイズのロボットをつくり、「群」で制御する研究を行っています。例えば、体内でがん発現の目印となる分子を自動識別し、その場で投薬するようなシステムを実現できる可能性もあります。ほかにもナノサイズの孔（穴）を用いてDNAやタンパク質を分子レベルで解析するナノポア技術の開発、DNAコンピュータによ

る情報処理など幅広い研究を行っています。この研究の面白さは、生命工学的なアプローチで生命システムを高度に理解し、これを超越る機能を人工的に再構成できる可能性があることです。これらの研究を支えているのが、半導体微細加工技術を応用したマイクロ流体デバイスやバイオMEMS*といった日本がもともと強みとしてきた工学技術です。MEMS技術と生体材料を融合した新たな研究領域を開拓しています。

*Micro Electro Mechanical Systemsの略

本学科が目指すもの



生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多彩な学問領域を取り扱います。これらの学問領域の基礎知識を網羅的に習得した上で、最先端の技術力、論理的な思考力・実行力および国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる国際的な技術者・研究者を養成します。

カリキュラム

1・2年次は専門基礎科目で生命現象の基礎知識を習得します。2年次後期からは専門科目で高度かつ最新の知識を提供。また2・3年次を通して実験・実習が組まれています。3年次後期から研究室に所属され、卒業論文のテーマを設定し、最先端の研究を行います。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次	◎生体機能工学演習Ⅰ・Ⅱ ◎応用生物学演習Ⅰ・Ⅱ ◎生体機能工学実験Ⅰ・Ⅱ	◎応用生物学実験Ⅰ・Ⅱ ◎卒業論文
3年次	◎生命工学の最先端Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ◎生命科学英語Ⅱ ◎生命技術英語Ⅰ・Ⅱ ◎免疫学・抗体工学 ◎生理医学 ◎細胞再生学・細胞医学 ◎ナノバイオエンジニアリング ◎脳神経学 ◎ケミカルバイオロジー	◎バイオプロセスエンジニアリング ◎食品・医薬品開発工学 ◎医療・組織工学 ◎レギュラトリーサイエンス ◎応用生体電子工学・応用微生物学 ◎応用ゲノミクス ◎生命工学実験Ⅲ・Ⅳ ◎生命工学研究概論 ◎研究室体験配属
2年次	◎バイオコンピューティング・バイオインフォマティクス基礎 ◎バイオ統計学・アドバンスドバイオインフォマティクス ◎物理学Ⅲ ◎生命物理化学Ⅰ・Ⅱ ◎生命有機化学Ⅱ ◎生命分析化学 ◎生命無機化学 ◎機器分析学 ◎生命化学Ⅱ ◎分子生物学Ⅱ ◎細胞生物学Ⅰ・Ⅱ ◎生命倫理・安全管理 ◎ライフサイエンス基礎演習Ⅰ・Ⅱ	◎生命科学英語Ⅰ ◎蛋白質・核酸科学 ◎植物工学・蛋白質工学 ◎先端機器分析学 ◎環境バイオテクノロジー・分子細胞工学 ◎バイオセンシング ◎メディカルケミストリー ◎マリンバイオテクノロジー ◎生命工学実験Ⅰ・Ⅱ
1年次	◎統計学 ◎化学基礎 ◎物理学基礎 ◎物理学Ⅰ・Ⅱ ◎生物学基礎 ◎基礎生物化学 ◎微生物学 ◎基礎生物学実験	◎生命工学入門・医工学入門 ◎生命有機化学Ⅰ ◎生命化学Ⅰ ◎分子生物学Ⅰ (工学部共通) 線形代数学Ⅰ 微積分学および演習Ⅰ 線形代数学Ⅱ 微積分学および演習Ⅱ 地学 地学実験

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

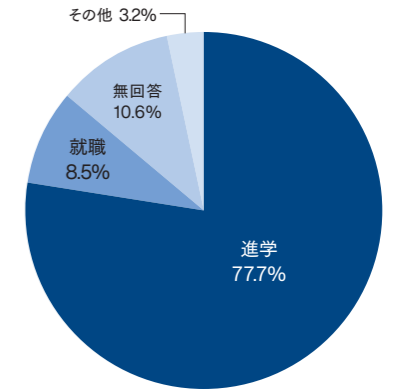
生命工学科の学び

生体機能工学	細胞機能工学/応用微生物学/生命分子情報科学/生体材料工学/細胞分子工学/ナノ生命工学/分子免疫工学/植物情報工学/分子生命化学/システムバイオロジー/細胞外環境工学/バイオビジネス/創薬酵素工学
応用生物学	生命分子工学/生体電子工学/生命有機化学/海洋生命工学/システムゲノミクス

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- 第一三共
- 田辺三菱製薬
- 興和
- 東和薬品
- 積水メディカル
- ニプロ
- 雪印メグミルク
- キューピー
- 理研ビタミン
- ヤクルト本社
- エステー
- 日本曹達
- 東洋インキSCホールディングス
- NTTデータ
- 東芝
- シャープ など
- 進学
- 東京農工大学大学院
- 東京医科歯科大学大学院
- 東京大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP.43へ

STUDENT VOICE
情報の本質を見極める
データサイエンティストになりたい

学生の声



倉田 明咲
KURATA, Misaki
大学院工学府 生命工学専攻
博士前期課程2年
私立大妻高等学校出身

情報科学の視点から、代謝によって生じた物質の内容や増減を解析しています。各質量分析によって得られたデータには、間違いが含まれていることがあります。そこで、プログラミングや統計学を駆使し、誤りが発生する確率の予測や、それをコントロールするための理論構築を行うことが私の主な役割です。以前は日常で起こるさまざまな現象について、「大体これくらいだろう」という推測をしていました。

しかし、それらを確率分布として数式に表せることを知り、統計学に興味を持ち始めました。今後の目標は、現在の研究における成果を形にすることです。将来はデータの奥に潜む本質を冷静に見極め、先入観に惑わされることなく精度の高い情報を導き出せるデータサイエンティストになりたいです。

生体医用システム工学科

BIOMEDICAL ENGINEERING

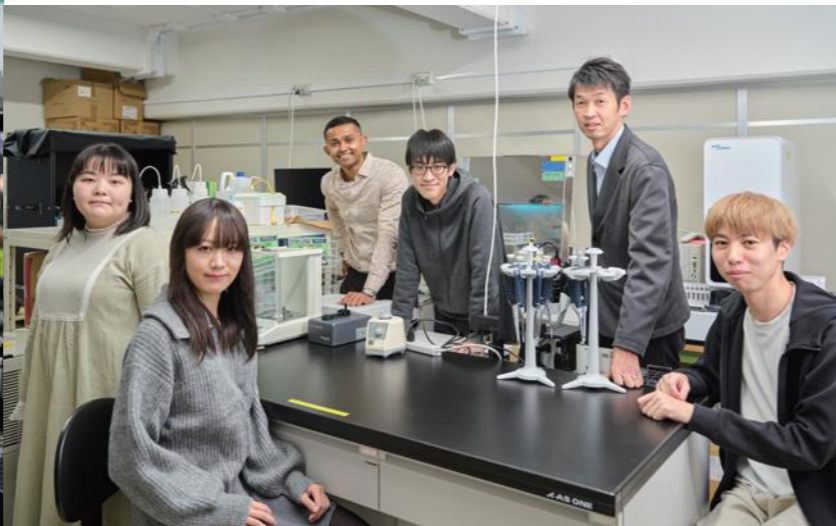
現代医療における計測・診断技術に必要な物理学や電子情報工学等を融合した形で体系的に学ぶことで、従来の学問体系に捉われない柔軟な発想のもとに、革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を養成します。

定員

56名



物理学+電子情報工学を学び、 未来の医療技術を創る



研究室 PICKUP



准教授 伊藤輝将
ITO, Terumasa

光を使って見えないものを可視化する装置を開発

光を当てて、分子を計測する研究を行っています。詳しく言うと光を空間的・時間的に制御する技術を用いて、小さな分子の特性を解析する新しい光学イメージングや分光手法の研究開発になります。コンセプトは「見えないものを見るための装置開発」。例えば、ピコ秒(1兆分の1秒)、フェムト秒(1000兆分の1秒)の瞬間だけ光の超短パルスを利用して、生体中の薬剤分子の濃度を測定する装置を開発しています。これは、振動している分子に光を当てること、振動数のずれた光が発生する「ラマン散乱」と

いう現象をベースにしている、局所麻酔薬や抗炎症剤の皮膚浸透のイメージング、血中薬剤計測などに応用できます。他にも、血液製剤をパルスUV光で殺菌する技術など、分光学や光化学を基盤にした幅広い研究を行っています。企業との共同研究や製薬会社からの受託研究にも力を入れています。精密機器・医療機器メーカーに就職して、バイオメディカル部門で活躍している卒業生も多数います。

本学科が目指すもの



さまざまな生体機能を細胞、遺伝子、分子・原子レベルで理解し、医用に資する革新的な計測・分析技術の創成を行います。さらに、医療現場における医療診断のニーズを踏まえた工学のシーズ応用を目指す教育研究を通して、国際社会をリードする研究者・技術者の養成を目指します。

カリキュラム

低学年次では、数学、物理学、生物学等に加え、医療機器や計測・診断技術のしくみにかかわる専門基礎科目について学びます。高学年次には、医療応用にかかわる医用フォトニクス、医用超音波工学、医用デバイス工学、医用メカトロニクス等について学びます。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		◎生体医用システム工学特別演習I・II ◎生体医用システム工学特別実験I・II ◎卒業論文
3年次		○病理学・薬理学 ◎生体医用工学II ◎生命倫理 ○化学物理 ○材料力学 ○光エレクトロニクス ○量子技術概論 ○医用超音波工学 ○医用メカトロニクス ○生体機能工学
2年次	数理統計学 ◎電磁気学IIおよび演習 力学II 熱統計力学 振動・波動 ◎プログラミングIIおよび演習	◎電気回路 電子回路 生物学 ◎生体医用工学I
1年次	◎工学基礎数学 工学応用数学 化学基礎 ◎生物学入門 ◎力学I ◎電磁気学Iおよび演習 ◎プログラミングIおよび演習 ◎臨床医学概論 生理学	(工学部共通) 線形代数学I 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

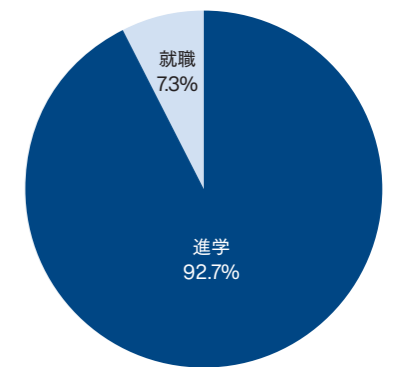
生体医用システム工学科の学び

生体医用センシング/生体物理学/生体機械工学/生体機能材料/生体電子材料工学/生体医用光学/生体医用分光学/医用デバイス工学/医用超音波工学/運動制御支援工学/光波センシング工学/3次元画像工学/超伝導工学/バイオメカトロニクス/バイオエレクトロニクス

取得できる免許・資格

☑ 博物館学芸員

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- GEヘルスケア・ジャパン
 - キヤノン
 - 日立製作所
 - ニデック
 - 花王
 - エプソン
 - 島津製作所
 - 横河電気
 - バイオニア
 - 本田技研工業
 - ヤマハ発動機
 - 日本電気
 - アンリツ
 - 三菱電機
 - 清水建設
 - 大成建設
 - 中国電力
 - オリパス
 - ソニー
 - コニカミノルタ
 - トプコン
 - シスメックス
 - パナソニック
 - 東京エレクトロン
 - 横河計測
 - トヨタ自動車
 - 日産自動車
 - 富士通
 - NTTデータ
 - ダイキン工業
 - 村田製作所 など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 他大学大学院 など

2024年度実績と大学院修了後の進路など詳しくはP.43へ

LABORATORY

STUDENT VOICE

学生の声



角谷綾夏
KADOTANI, Ayaka
大学院工学府
生体医用システム工学専攻修士後期課程2年
私立ノートルダム清心高等学校出身

人工臓器の基になる「移植用オルガノイド」を作製する

人工臓器を作製するための基礎研究に取り組んでいます。ヒトの臓器を代替できる実物大サイズの「移植用オルガノイド」を作製することが研究目標になります。オルガノイドとは、ヒトの組織の構造や機能を一部模倣した細胞集合体のことで、iPS細胞を適切に分化誘導することで得られます。ただ、従来の手法では作製に膨大な時間がかかるのが課題でした。そこで、私はLEGO®ブロックのように細胞の塊を組み立てることで、人工臓器を高速で構築できるのではないかと考え、その実現に取り組んで

います。実際に大きな細胞の塊を作製し、三次元的に自在に配置できる手法を確立することに成功しました。数ある臓器の中で私が挑んでいるのは需要が多い腎臓の作製です。1つの臓器だけで細胞が26~28種類あるといわれ、構造が複雑で課題も多いのですが、医療現場からのニーズも高く、大きなやりがいがあります。現在はシンガポールの大学で研究留学をしながら、日本ではできない実験アプローチを試しています。



物質の構造や機能を理解し、 新しい物質・材料の創出へ



化学は物質の構造や機能を理解し、新しい物質を創り出す分野です。本学科では原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを対象とし、様々な分野において活躍できる独創性や応用力を身に付けた人材を育成します。

定員

81名

研究室 PICKUP



准教授 岩間悦郎
IWAMA, Etsuro

電池の「蓄える力」とキャパシタの「速さ」を両立する次世代SRC

現在、スマートフォンや電気自動車、AIデータセンターなどの発展・普及により、「すばやく充電できて、必要ときにすぐ取り出せ、何度も繰り返し使える」蓄電デバイスに注目が集まっています。高速に充放電でき、数百万回くり返し使えるデバイスの例に「キャパシタ」があります。一方で、一般的な電池に比べて蓄えられる電圧が少ないという課題があります。私たちはこの問題を解決するため、電池の「蓄える力」とキャパシタの「速さ」を両立する次世代キャパシタ「スーパーレドックスキャパシタ (SRC)」の研究

に取り組んでいます。新しいSRC用キャパシタ材料をどう設計して合成するかから、材料の構造解析、性能評価までを一貫して行い、より高性能で長寿命な次世代SRCの開発を目指しています。小金井キャンパスの「次世代キャパシタ研究センター」を拠点に、企業とも密接に連携しながら、社会に役立つ技術の実現を目指しています。無機化学・有機化学・物理化学の知識を横断的に活用し、学術的な理解を深められる点も、この研究の大きな魅力です。

本学科が目指すもの

原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを、講義、実験、研究の対象としています。有機化学、無機化学、物理化学、高分子化学等の基礎科目から、半導体化学、エネルギー化学、触媒化学、バイオ材料化学、高分子物性等の応用科目まで習得します。このように化学や材料科学の基礎から応用まで学ぶことによって、多様な化学・材料科学の領域や、化学と環境・食品・医薬等との境界・融合領域において活躍できる研究開発力が身につきます。



カリキュラム

化学に関する幅広い科目を無理なく着実に学習できるカリキュラムが用意されています。1~3年次の各学年には実験科目がバランス良く配置されており、卒業研究は研究室において化学の最先端領域の研究指導を受けられる体制が整えられています。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		◎卒業論文 ◎応用化学セミナーI ◎応用化学セミナーII
3年次	統計力学 構造化学 分子分光学 エネルギー化学 化学工学 高分子物性I 高分子物性II 物性化学 セラミック化学 半導体化学	機器分析II 有機化学V 有機工業化学 有機金属化学 高分子化学II 生体材料化学II ◎論文・文献講読 ◎応用化学実験III ◎応用化学特別実験 ◎研究室体験配属
2年次	物理化学II 反応速度論 量子化学I ◎物理化学演習 無機化学II 無機化学III ◎無機化学演習 有機化学III ◎有機化学演習 材料電磁気学 光学基礎 生体材料化学I 環境物質化学概論	量子化学II 機器分析I 有機化学IV 高分子化学I ◎応用化学実験I ◎応用化学実験II
1年次	◎応用化学入門 ◎物理化学I ◎無機化学I 分析化学 ◎有機化学I 有機化学II 力学概論 振動・波動の物理 ◎科学基礎実験	化学英語 <工学部共通> 線形代数学I 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験

◎印の科目は必修

応用化学科の学び

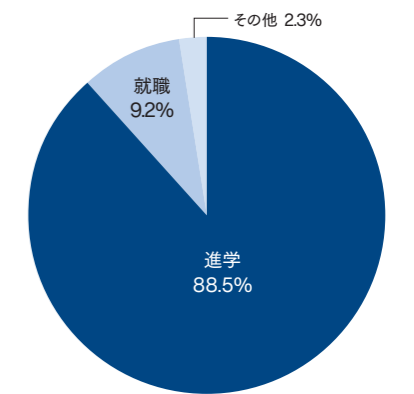
応用化学

分子創成化学/光電子材料化学/分子設計化学/無機固体化学/電子エネルギー化学/分子触媒化学/有機・高分子物理化学/有機・高分子素材化学/有機・高分子物性化学/バイオ高分子材料/サステナブル高分子材料

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- アステラス製薬
 - クラレ
 - クレハ
 - コニシ
 - 住友化学
 - 積水化学工業
 - 東ソー
 - 日本製紙
 - 日本軽金属
 - 三菱マテリアル
 - 日野自動車
 - 本田技研工業
 - GSユアサ
 - デンソー
 - 日本精工
 - キヤノン など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 他大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP.43へ

STUDENT VOICE

アミノ酸を用いた「キラル二級アミン触媒」を開発する

学生の声



石曾根実
ISHIZONE, Minoru
大学院工学府 応用化学専攻
博士後期課程1年
私立早稲田高等学校出身

有機合成化学は、有機分子をデザインし、合成する学問です。入手困難な自然界由来の化合物を人工的に合成できるだけでなく、未知の化合物を創造することもできます。なかでも私は、「不斉合成に用いる触媒」の開発に取り組んでいます。不斉合成とは、右手と左手のように鏡像関係にある分子のうち、一方だけを選択的に合成する技術です。特に医薬業分野では、望ましくない作用をもつ分子の生成を防ぎ、安全性や品質の向上に役立っています。所属研究室では、不斉合成に用いる「キラル二級ア

ミン触媒」の開発に取り組んできましたが、作成が困難という問題がありました。そこで私は、アミノ酸を原料として従来の触媒と同様の機能を示す触媒を簡便に作成する方法の開発に成功しました。もともと私は高校時代から有機化学や高分子化学に興味があり、この分野で高度な研究ができる現在の学科を選びました。今後の目標はキラル二級アミン触媒を用いた合成手法を医薬品開発に応用すること。さらに新たな反応や触媒の開発にも挑戦していきたいと思っています。

化学物理工学科
APPLIED PHYSICS AND CHEMICAL ENGINEERING

化学工学、物理工学、電気電子工学、機械工学など幅広い分野の専門家により、エネルギー、環境、新素材から量子までを習得できるカリキュラムを整備。地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を備えた技術者を育成します。

定員

81名



化学と物理の知識をベースに
持続可能な社会を実現する



研究室 PICKUP



教授 | ウレット・レンゴロ
Wuled LENGGORO

地球規模の幅広い課題の発見と解決に貢献できる点が化学物理工学科の魅力です。エネルギー、新素材、環境という3つの軸を中心に、化学工学、物理工学（応用物理）、電気電子工学、機械工学分野をカバーする、世界的に見てもオンリーワンの学科であるといえるでしょう。私の研究室では「微粒子工学」を起点に、物質・流体・熱の移動現象、化学プロセス、生物システム

という異なる領域を横断した研究を展開し、工学部や企業と連携もしています。設定した目的に応じて研究装置を自分たちの手で製作することもあり、世界初となる最先端の成果も数多く生まれています。研究過程において自己決定力と豊かな知識と技術を育んでいます。今後も引き続き多様性のあるグローバルな目標を持って、新技術の開発に取り組むことを目指しています。

「微粒子工学」から多様に派生し
地球規模の課題を解決

本学科が目指すもの

エネルギー・環境等の地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を身につけるには、化学と物理の総合的理解が必要です。本学科では、総合的理解が必要な課題、例えば「新素材を用いた高効率・低環境負荷のエネルギー変換デバイスの開発」など、社会的ニーズが高い課題に挑戦する高度グローバルエンジニアを育成します。化学・物理の総合理解という社会からの要請が強く反映された、他大学には存在しないオンリーワンの学科で学びましょう。



カリキュラム

化学、物理などの基礎科目および、化学工学と物理工学をバランス良く履修するカリキュラムです。専門科目ではエネルギー、環境、新素材、量子の4つのキーワードを重視し、科目群を用意しています。研究室配属により実践的な課題解決力を身につけます。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		プロセスデザイン工学 ◎卒業論文
3年次	科学技術英語 ○工業熱力学	○エネルギープロセス工学 エネルギー変換工学 画像情報工学 ○環境工学 バイオプロセス工学 環境計測工学 ○電気電子材料工学 光エレクトロニクス 高分子工学
2年次	微分方程式I 微分方程式II ベクトル解析 数理統計学 生物化学 分析・機器分析化学 振動・波動	有機化学 ○移動現象論および演習 ○電気回路 ○電磁気学および演習 ○量子力学および演習 ○システム工学基礎 ○熱統計学演習
1年次	◎力学および演習 ○物理学基礎II ◎化学基礎 ○化学物理基礎 ○生物学基礎 ◎化学物理数学および演習 ◎化学物理工学入門	プロセスシステム工学 ◎先端化学物理工学概論 ◎化学物理工学先端プロジェクト演習 ◎化学物理工学実験I・II 反応速度論 拡散分離工学 電磁波工学 電子回路 電子量子デバイス工学
	○情報プログラミング 情報応用プログラミング ○無機化学基礎 ○有機化学基礎 ○ケミカルエンジニアリング基礎 〈工学部共通〉 線形代数学I 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験	

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

化学物理工学科の学び

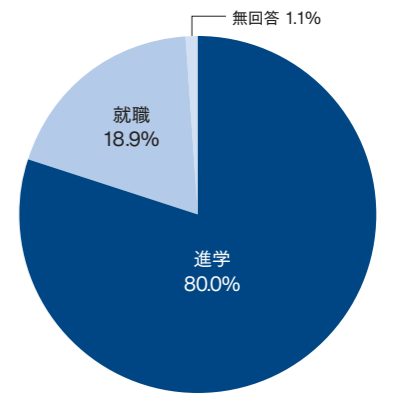
化学物理工学

化学工学/応用物理学/化学エネルギー工学/環境バイオエンジニアリング/反応工学/分離工学/物性工学/異相界面工学/プロセスシステム工学/量子機能集積工学/光電子材料工学/電子機能集積工学/量子過程工学/量子光工学/エネルギーシステム工学

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- 三菱ケミカル
- 富士フイルム
- 日産自動車
- 花王
- 出光興産
- キヤノン
- キューピー
- 東洋インキ
- 日本化薬
- ユニチカ
- 三菱化工機
- 荏原製作所
- 大気社
- TOPPANホールディングス
- クレハ
- 王子製紙
- オルガノ
- 富士ゼロックス
- 官公庁 など
- 進学
- 東京農工大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP43へ

LABORATORY PICKUP

STUDENT VOICE

学生の声



清水蒼太
SHIMIZU, Sota

大学院工学府 先進学際科学専攻
資源・エネルギー科学コース博士前期課程1年
国立小山工業高等専門学校出身

木材を蒸発器として海水から淡水を生成する!

植物は「毛管力」によって水を吸い上げ、各器官に栄養を運び、蒸散によって体温を調節するなど優れた生命維持機能を持っています。これらの仕組みを応用し、木材を蒸発器として活用して、身近な自然素材から淡水を得る新しい技術の可能性を探っています。具体的には、電気を使わずに太陽光の熱だけを利用して海水から淡水を生成する蒸発器を開発しています。この蒸発器の新規性は、木材の表面を「炭化」させることで黒くし、太陽光の幅広い波長を効率よく

吸収し、熱を制御する仕組みにあります。農学的な植物の専門知識と炭化という工学的なアプローチを融合した研究になります。化学物理工学科の魅力は、化学工学と物理工学の視点を同時に得られることです。これは知識の領域をラボスケールからプラントスケールへと展開する際に大きな力になります。この学科は、社会課題の解決に関心のある学生が多く、環境負荷軽減や再生可能エネルギーに関する熱い議論ができることも気に入っています。

MECHANICAL SYSTEMS ENGINEERING
機械システム工学科



ハードとソフトを融合し
人類の未来を拓く技術を実現する



最先端の工作機械を用いた実験や実習を行い、ハードウェアからソフトウェアまでの幅広い分野を研究対象としています。これらの研究を通し、環境と調和した、時代を超える次世代のハイパーマシンを創造します。

定員

102名

研究室 PICKUP



准教授 有泉亮
ARIIZUMI, Ryo

災害現場で活躍する「ヘビ型ロボット」を開発する！

生物模倣ロボットの一つである「ヘビ型ロボット」の制御や動作設計を行っています。数理モデリング、システム制御理論、機械学習などを基盤とした理論研究がメインになります。ヘビ型ロボットは、車輪走行に向かない悪路や細いパイプの中など多様な環境で活動できることから、インフラの点検整備、災害発生時の探索救助活動などでの応用が期待されています。そこで研究室では、環境に合わせたタスクを行うための制御、関節故障発生時の制御方法などの研究を行っています。

AIのコア技術の一つである「強化学習」を用いて、今までなかった動作を自動で獲得する研究、ロボット自体の構造を設計する研究などにも取り組んでいます。システム制御や機械学習を基礎理論から学び、数学的な思考を身につけることは、AI時代に大きな力になることは間違いありません。本格的なロボット制御の実践を通じて、高度なアルゴリズム開発やコンピュータシミュレーションの技術を養成するのが研究室の目標です。

本学科が目指すもの



スマートモビリティ、デジタルものづくり、ロボティクス・ナノメカニクスという3つの軸を中心に幅広い機械系専門分野のダイバーシティをカバーする学科です。基礎となる力学、制御、数値解析、プログラミング、材料、設計、加工、精密計測、電子工学などを体系的に学び、「航空宇宙・機械科学」「ロボティクス・知能機械デザイン」の2コースで、機械エンジニアとしての根幹を深く太くし、スペシャリティの枝葉を伸ばし広げることができます。

カリキュラム

機械力学、熱工学、流体力学、材料工学などの機械製作に欠かせない知識と技術を身につけ、幅広く基礎を習得。2年次後学期から「航空宇宙・機械科学」と「ロボティクス・知能機械デザイン」の2コースに分かれ、興味のある科目を重点的に学ぶことができます。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

	専門科目			
	自然科学基礎科目 (数学)(科学)	専門基礎科目	専門科目	
		航空宇宙・機械科学コース	ロボティクス・知能機械デザインコース	
4年次		科学技術英語	◎卒業論文	
3年次	数理統計学 統計力学系解析 量子力学概論	工学倫理	塑性力学 伝熱学II 構造材料評価法 トライボロジー 数値流体力学および演習 機械材料工学II 宇宙推進工学 航空宇宙流体力学 有限要素法および演習 ガスタービン	機械設計II 生産加工学II 計測・信号処理工学 ロボット工学 MEMS 車両工学 生産システム工学 人間科学計測法 振動制御および演習 メカトロニクスおよび演習
			○流体力学II ○宇宙制御工学 ◎CAD演習	◎機械システム工学実験III ◎研究室体験配属 ○機械システム特別研究II
2年次	微分方程式II ベクトル解析 関数論 電磁気学 化学基礎 生物学基礎 連続体力学	流体力学I 機械材料工学I 制御工学I 機械設計I 伝熱学I 生産加工I	弾性力学	機械電子工学II 光工学
			※2年次後学期から2コース制に移行	
			○材料工学II ○熱工学II ○機械力学II ○制御工学II ◎機械システム設計製図	◎コンピュータプログラミングI ◎コンピュータプログラミングII ◎機械システム工学実験I ◎機械システム工学実験II
1年次	微分方程式I 力学I 力学II (工学部共通) 線形代数学I 微分積分学および演習I 線形代数学II 微分積分学および演習II 地学 地学実験	◎基礎ゼミ 機械システムデザイン 材料力学I 熱工学I 機械力学I 機械電子工学I	◎機械製図法 ◎機械システム特別研究I	

◎印の科目は必修科目、○印の科目は両コース共通専門科目

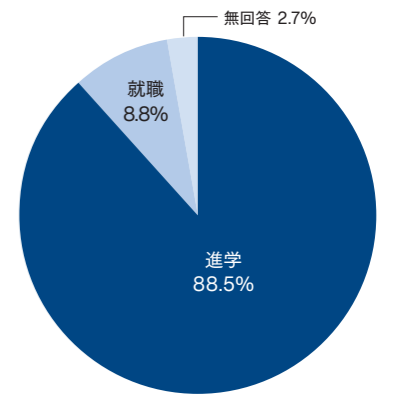
機械システム工学科の学び

エネルギー変換システム/流体力学/機械材料学/材料力学/機械要素解析/応用力学/生産加工学/生産システム工学/航空宇宙工学/熱流体システム設計/熱流体制御工学/車両システム工学/制御システム学/マイクロシステム工学/生体機械力学/ロボティクス

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な就職先

- IHI
 - JFEスチール
 - 日本電気
 - NTTデータ
 - いすゞ自動車
 - オークマ
 - オリンパス
 - カシオ計算機
 - マレリ
 - カワダロボティクス
 - ヤフー
 - リコー
 - 安川電機
 - 伊藤忠テクノソリューションズ
 - 横河電機
 - 古河電気工業
 - 三菱重工業
 - 三菱電機
 - 鹿島建設
 - 住友電気工業
 - 小松製作所
 - 日本製鉄 など
- 進学
● 東京農工大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP43へ

学生の声



川熊将賜
KAWAKUMA, Masashi
大学院工学府機械システム工学専攻
博士前期課程1年
国立東京工業高等専門学校出身

イルカの皮膚表面から着想を得た技術で乗り物をエコにする

研究対象は、「乱流」と呼ばれる流れの状態です。乱流は、水道を流れる水や航空機周りの空気の流れなど、私たちの身近なところに広く存在しています。流れが乱流になると、物体の表面は流体から大きな抵抗を受けるため、航空機などは余分なエネルギーを消費し、多くの燃料を必要とします。私は、乗り物の省エネルギー化を目指し、乱流構造を能動的に操作する「進行波制御」と呼ばれる技術を研究しています。この手法は、イルカの皮膚表面の運動から着想を得たもので、新幹線や航空機

などに応用できれば、大幅な抵抗低減が期待できます。現在は、進行波制御を工学的に実現するため、物体表面を意図した通りに動かすアクチュエーターの開発に取り組んでいます。研究は試行錯誤の連続であり、一朝一夕に成果が得られるものではありません。しかし、自らのアイデアを試し、そこから新たな発見を得られたときには、大きな達成感を感じます。限られた資源を効率よく利用する技術を通じて、社会の持続的な発展に寄与したいと考えています。

ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCE
知能情報システム工学科

情報工学から電気電子工学にわたる幅広い技術の基礎を身につけることができます。コンピュータサイエンス、先端デバイス技術、プログラミング、次世代通信技術、人工知能技術、ロボティクスなどについて学ぶことができます。

定員

120名



**超スマート社会を支える
 技術者・研究者を養成**



研究室 PICKUP



准教授 | 早川 諒
 HAYAKAWA, Ryo

信号処理の技術でデータを解析し価値のある情報を抽出

最近、画像をキレイに編集したり鮮明化したりするアプリが人気ですね。私たちの研究室では、このような技術の基盤となる信号復元—観測データからの未知信号の復元—などの研究を行っています。音・画像・電波などのデータを加工して、価値のある情報を取り出す信号処理の技術の1つです。具体的には、画像に含まれるノイズの除去、MRIやCTでの医用画像の再構成、衛星からの電波を使った地表面の撮像といった多彩なテーマの応用研究を行っています。

このような技術の研究・開発では、数学や情報工学の知識が生きてきます。高度な数理モデルや機械学習の技術を用いて、信号処理の課題を理論的に解決する手法を考え、自らプログラムとして実装し、その性能をコンピュータシミュレーションで評価します。学生たちは各自の研究テーマでこのサイクルを繰り返しています。AIが高度に発展し続けている今こそ、その基盤となる数学に基づいた理論を学んでおくことが、変化する情報社会における大きな強みになるでしょう。

本学科が目指すもの



知能情報システム工学科では、人間と親和性の高い知的な情報システムの創出ならびに次世代のサイバーフィジカル社会を支える基盤となる電子情報通信システムの構築に必要な教育研究を行います。これにより、現代社会が抱える諸問題の解決に貢献する高度イノベーション人材の養成を目指しています。

カリキュラム

知能情報システム工学科では基礎となるプログラミングや電気回路等の専門基礎科目に実験・演習を組み合わせることで「手を動かす教育」を行います。専門科目の履修には2つのコースを用意することで、幅広い知能情報システム工学分野の中でアイデンティティを確立します。

※カリキュラムは、令和8年度の内容を記載しています。令和9年度にカリキュラム改正を予定しているため、以下の内容から一部変更になる可能性があります。

	専門科目			
	専門基礎科目		専門科目	
	数理情報工学	電子情報工学	数理情報工学	電子情報工学
4年次			◎論文・文献購読 ◎卒業論文	
3年次			◎知能情報システム工学実験2A ○先端数理情報数学 オペレーティングシステム 言語処理系 ソフトウェア工学 コンピュータグラフィックス 情報セキュリティ 計算機ネットワーク データベース 関数プログラミング 数理最適化	◎知能情報システム工学実験2B ○先端電子情報数学 電子デバイスII デジタル電子回路 メディア伝送工学 量子力学概論 熱統計力学 パワーエレクトロニクス 先端電子デバイス 電磁波工学
2年次	◎離散数学 ◎アルゴリズム序論 ◎アルゴリズム序論演習 ◎計算機アーキテクチャ ◎計算機アーキテクチャ演習	◎電磁気学I ◎電磁気学II ◎基礎電子回路 ◎電子デバイスI	◎知能情報システム工学実験1A オブジェクト指向プログラミング	◎知能情報システム工学実験1B 回路理論 電子物性工学
1年次	◎線形代数学I ◎微分積分学I および演習 ◎線形代数学II ◎微分積分学II および演習 地学 ◎微分方程式 ◎幾何学 物理学基礎 ◎知能情報システム工学概論	◎プログラミングI ◎プログラミングII 演習 ◎プログラミングIII 演習 ◎コンピュータ基礎 ◎基礎電気回路 ◎論理回路 ◎基礎回路演習	○信号処理論 ◎基礎情報数学 ◎アルゴリズム論 マイクロプロセッサ ◎先進知能情報システム工学実験II ◎先進知能情報システム工学実験III	◎先進知能情報システム工学実験I ◎先進知能情報システム工学演習I

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

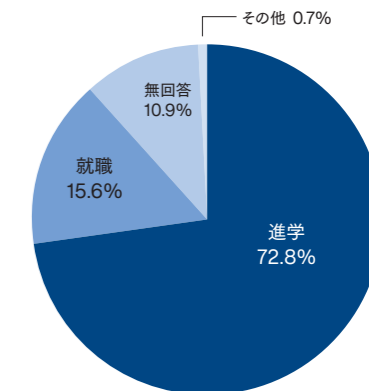
**知能情報システム
 工学科の学び**

システムソフトウェア/ネットワーク/セキュリティ/パターン認識/人工知能/ロボティクス/コンピュータグラフィックス・VR/ヒューマンインタフェース/計算機アーキテクチャ/アルゴリズム/計測・制御工学/信号処理/画像工学/通信工学/電子材料・物性工学/ナノデバイス/パワーエレクトロニクス/ワイヤレス通信/電磁気学/電子回路/電子デバイス

取得できる免許・資格

- ☑ 中学校教諭1種免許(数学)
- ☑ 高等学校教諭1種免許(情報・数学)

卒業後の進路状況 (2024年度実績)



学部卒業後の主な進路

- 日本電信電話
- NTTデータ
- NTTコミュニケーションズ
- 野村総合研究所
- KDDI
- 日本電気
- 日立製作所
- 富士通
- リクルートホールディングス
- 日本放送協会
- トヨタ自動車
- 本田技研工業
- いすゞ自動車
- 三菱自動車工業
- 日産自動車
- SUBARU
- 小松製作所
- 日立ソリューションズ・テクノロジー
- 日立国際電気
- ルネサス エレクトロニクス
- 電源開発 など
- 進学
 - 東京農工大学大学院
 - 本田技研大学
 - 東京工業大学大学院 など

2024年度実績や大学院修了後の進路など詳しくはP.43へ

LABORATORY

STUDENT VOICE

学生の声



赤石 夏輝
 AKAISHI, Natsuki
 大学院工学府 知能情報システム工学専攻
 博士後期課程2年
 私立・サール高等学校出身

多くの音楽信号にはギターやドラムなどの複数の楽器音が含まれ、それぞれがさまざまな成分で構成されています。私が取り組んでいるのは、和音やリズムなどの音楽的な情報の抽出に役立つ、三角関数的な成分と打撃的な成分を分離する手法の研究です。その研究では、数理最適化を中心とした数学を用いて、より高い分離性能を実現しました。それと並

**数学を用いて音や画像の
 処理性能を向上**

行して、同様の数学を用いて顕微鏡の画像を高精度に復元する手法の開発にも挑戦しています。私はもともと音楽が好きで、数学的な視点から音響信号を扱う研究に面白さを見出しました。AIを始めとするさまざまなデジタル技術が急速な発展を遂げる中、独自のアイデアによって新しい可能性を広げられる点が大きなきりがいいなっています。

大学院

GRADUATE SCHOOL



学部で身につけた知識や実験・実習のスキルを活かして、自ら研究課題を見つけ出し、解決方法を模索していくのが大学院の学び。研究課題に関するコミュニケーションや発表のスキルも磨くことができます。企業や行政機関の研究職を目指す場合、大学院の研究、ラボ活動の経験が、将来の選択肢を広げてくれます。また、大学で研究を続け、研究者・指導者を目指すこともできます。

工学府

博士前期課程・博士後期課程・
専門職学位課程

2023年4月に、櫛型教育の完成を目指して、博士前期課程6専攻、専門職学位課程1専攻、博士後期課程6専攻へと改組し、また2019年4月には博士後期課程に東京外国語大学及び電気通信大学と連携した共同専攻「共同サステナビリティ研究専攻」を設置しています。工学府では、所属専攻で高度な専門性を身につけるとともに専攻横断型の学際科目も用意し、企業などとの共同研究を通して、他の専門分野の人とも協働できる人材を育成することを目標にしています。工学府は社会にも広く開かれた学びを展開しており、企業や研究機関に所属する研究者なども就業しながら博士後期課程を修了することができます。

博士前期課程
生命工学専攻 生体医用システム工学専攻 応用化学専攻 化学物理工学専攻 機械システム工学専攻 知能情報システム工学専攻
博士後期課程
生命工学専攻 生体医用システム工学専攻 応用化学専攻 化学物理工学専攻 機械システム工学専攻 知能情報システム工学専攻
博士課程（後期3年）
共同サステナビリティ研究専攻
専門職学位課程
産業技術専攻

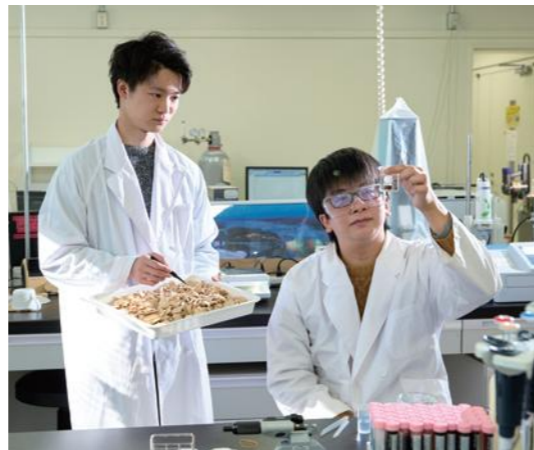


農学府

修士課程

「農学」を基盤として地球規模の課題に挑める人材を育成するために、農学府（修士課程）は2019年4月、改組を行いました。旧来の9専攻のすべての分野を1専攻に集約し、専門分野間の学術交流を活性化します。また、海外の研究留学や提携大学とのダブルディグリープログラムも整備。グローバル社会のニーズに応えるスキルの養成にも注力します。

修士課程
農学専攻 ●生物生産科学コース ●応用生命化学コース ●自然環境資源コース ●食農情報工学コース ●地球社会学コース ●国際イノベーション農学コース



共同獣医学専攻
4年制博士課程

共同獣医学専攻の卒業生は、岩手大学と共同で設置している獣医学の大学院博士課程（修業年限4年）に進むことができます。動物基礎医学、獣医衛生科学、獣医臨床医学のうちのひとつに所属して研究を進めます。

4年制博士課程
共同獣医学専攻

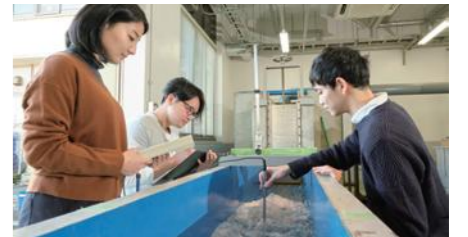


連合農学研究科

博士課程（後期3年）

本学、茨城大学および宇都宮大学の農学系大学院修士課程を母体として編成された博士課程のみの大学院です。学生1名に関係分野の教員3名を指導教員として配置し、濃密で効率的な研究指導体制をとっています。全学生の約4割が留学生という国際色豊かな大学院です。

博士課程（後期3年）
生物生産科学専攻 応用生命化学専攻 環境資源共生科学専攻 農業環境工学専攻 農林共生社会科学専攻



修了後のキャリア

東京農工大学/東京農業大学/海洋生物環境研究所/農研機構/理化学研究所/岩手県生物工学センター/ガジャマダ大学/ラオス国立大学/カントー大学/ムンブジマ大学/クレハ/クボタ/日本情報通信 ほか

先進学際科学府

修士課程

博士後期課程 ※令和9年度設置構想中

博士課程（後期3年） ※令和9年度設置構想中

大学院先進学際科学府では、計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として連携・融合することにより農学・工学を基盤とした学際的な教育研究を行います。先進学際科学専攻（修士課程・博士後期課程）及び早稲田大学との共同専攻である共同先進健康科学専攻（博士課程（後期3年））を設置して実データを活用した知の創造、科学的・社会的課題の解決、持続的社会的実現に向けた新しい知や価値の創出に取り組む高度情報人材を育成します。

※現時点では設置に向けた構想中であり、内容を変更する場合があります

修士課程（2年）
先進学際科学専攻 ●予測情報学コース ●資源・エネルギー科学コース ●食料・環境科学コース ●健康・福祉科学コース

博士後期課程（3年）
先進学際科学専攻 ●予測情報学コース ●融合科学コース

※令和9年度設置構想中

博士課程（後期3年）
共同先進健康科学専攻

※令和9年度設置構想中



修了後のキャリア

旭化成/ソニー/全日本空輸/オリンパス/パナソニック/東京エレクトロン/日産自動車/プリマハム/キヤノン/日揮/村田製作所/花王/トヨタ自動車 ほか

博士人材育成プログラム

農学や工学の垣根を超えた「研究教育特区」である「未来価値創造研究教育特区（FLOuRISH）」では、修士課程から博士後期課程までの5年一貫制「卓越大学院プログラム」や、博士後期課程の学生を対象とする「FL-SPRING/FL-BOOST」プログラムとして、研究奨励費及び研究費支援、国内外研究留学支援、学際融合による尖端的研究力を高めるためのアントレプレナーシッププログラムの提供等を行っています。

- 本プログラムでは、学術的な研究力を深めるとともに、学際融合による新しい研究領域を開拓し、多様な視点からイノベーションや新産業の創出や「超スマート社会」を実現できる人材の育成・輩出を目指しています。
- 本事業による支援を受けた学生は、修了後、大学や研究所のみならず、産業界にも多く進み、中には起業するなど、非常に多様なキャリアに進んでいます。

未来価値創造研究教育特区 FLOuRISH	
<p>卓越大学院プログラム (5年一貫制)</p> <p>○研究の独自性を社会で発揮するための行動計画立案力の養成 ○プロジェクト企画・運営・外部資金獲得支援 ○農工共創及び新産業創出プログラムの提供</p>	<p>FL-SPRINGプログラム 次世代研究者挑戦的研究プログラム FL-BOOSTプログラム 尖端研究により未来社会を創生する次世代AI博士人材育成プログラム (博士後期課程対象)</p> <p>○研究奨励費・研究費支援 ○国内外研究留学/インターンシップ支援 ○国際力強化プログラムの提供 ○多様な学際的尖端研究力促進プログラム アカデミックアントレプレナーチャレンジ、学際融合合宿（1泊2日集中）、イノベーション概論（Basic/Advanced） ○キャリア開発プログラムの提供、等</p> <p>↑ FL-SPRING/FL-BOOST選考</p>
<p>博士後期課程</p> <p>D3 D2 D1</p>	<p>博士前期・修士課程</p> <p>M2 M1</p> <p>本学所属の大学院生、他大学からの進学者</p>

※FL-SPRINGについては、2026年度以降、制度の見直しが見込まれています。最新の情報は、本学未来価値創造研究教育特区（FLOuRISH）WEBサイトをご確認ください。 <https://www.tuat-flourish.jp/>

CAREER

卒業生インタビュー/キャリア支援

東京農工大学では、大学院への進学率が高いため、大学院を修了した後に就職する学生が多いことが特徴です。また、本学で学んだ卒業生たちは、学術研究分野のほか、産業界など社会で広く高い評価を受けています。学生各人が自己の能力・適性に合わせた職業選択をできるように、進路・就職の指導および情報提供をしています。進路（就職・進学）ガイダンス日程等の詳細については、ホームページ・SIRIUS掲示板、就職情報コーナー等で案内しています。

卒業生 INTERVIEW

片岡将樹

KATAOKA, Masaki

大学院農学府応用生命科学専攻
修士課程修了
サントリーホールディングス
株式会社勤務



「再生農業」で持続可能な原料調達を実現する！

サントリーホールディングス株式会社で、持続可能な農産物原料の調達を実現する仕事に従事しています。具体的には、自社製品の原料となる作物の生産現場に「再生農業」と呼ばれる農法を導入し、農地由来の温室効果ガス排出量を削減するとともに、健全な土壌や生態系を維持することで、気候変動に耐えうる安定した作物生産体系を構築することを目指しています。静岡県や鹿児島県のお茶、米国産のトウモロコシ、タイ・豪州産サトウキビなど、世界中で約20カテゴリーの作物を対象に再生農業の導入を進めています。

学生時代は農学部応用生物科学科の発酵学研究室に所属し、土壌微生物が産生する化合物の中から創薬につながる生理活性物質を探索する研究に取り組みました。研究を通じて身につけた「仮説を立てて実験系を設計し、データを整理・解析した上で考察する」という再現性のあるプロセスは、今でも仕事を進める際の基礎力として活かしています。また、アメリカンフットボール部で学んだ「勝利を目指すプロセス」も、目標に向かって仲間と協力し困難を乗り越える力として大きな強みとなっています。

卒業生 INTERVIEW

中井公美

NAKAI, Kumi

大学院工学府
機械システム工学専攻
博士後期課程修了
国立研究開発法人
産業技術総合研究所勤務



流れを予測・制御して自動車や航空機の性能を向上させる

「流体機器」の性能を高めるための「流れの予測・制御技術」の研究を行っています。流体機器とは、自動車や航空機などの乗り物、タービンや風車などの装置のことを指します。これらの性能を向上させるためには、機器の周りの「流れの状態をリアルタイムに予測して適切に制御する技術」が不可欠です。そこで私は限られた数点のセンサー情報から流れ全体を高速・高精度に予測する技術や、放電プラズマを使って流れの状態を自在に制御する技術の実現を目指して、スーパーコンピュータを使った数値シミュレーションやデータサイエンスを駆使した研究開発を行っています。

私は学生時代から工学部機械システム工学科の西田研究室で、流体制御技術の研究に取り組んでいました。数値シミュレーションを駆使して、放電プラズマで空気の流れを制御する装置の性能向上に尽力しました。大学時代に学んだ数学や流体力学などの基礎知識は今の研究に欠かせません。「AI時代」と呼ばれる現在基礎学問の知識を応用し論理的に考える力が、社会に役立つ新しい技術の開発には不可欠です。

卒業生 INTERVIEW

國田泰地

KUNITA, Taichi

農学部地域生態システム学科卒業
株式会社日比谷アメニス勤務



都市における緑の価値を多くの人に広めたい

造園業を中心に、首都圏に緑を増やす事業を展開している株式会社日比谷アメニスで働いています。屋上緑化や壁面緑化などを得意とする会社で、これまでも麻布台ヒルズなど大規模な開発プロジェクトを経験することができました。入社から3年ほど現場の工事を経験し、現在は設計や現場マネジメントの仕事が増えています。やはり一生涯モノをつくる手応えは、たまらない感動があります。

もともと私は、動物や植物など自然の生態系に興味があり、この分野を幅広く学べそうな農学部地域生態システム学科に進学しました。「生物多様性保全学」や「景観生態学」など面白い授業がたくさんありました。所属していた健康アムニティ研究室では、「自然と人とのつながり」をテーマに、公園利用と緑化の関係性などについて研究していました。大学時代の学びは、そのまま今の仕事に活かされています。この仕事における将来の目標は、都市における緑の価値を多くの人に提供することです。首都圏における大規模再開発に多く携わり、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

卒業生 INTERVIEW

菊地純奈

KIKUCHI, Junna

大学院工学府
生体医用システム工学専攻
博士前期課程修了
テルモ株式会社勤務



憧れの医療機器メーカーで製品開発に従事

医療機器メーカーのテルモ株式会社で、血管内治療用の製品開発に携わっています。研究対象は、カテーテル治療を行う際の器具を誘導するガイドワイヤーと呼ばれる金属製のワイヤーです。これを消化管に適用した製品の開発をするのが私の仕事です。現在は、ガイドワイヤーの機能を検証する実験を繰り返しています。私はもともと医療機器の開発に携わりたいと考え、工学部生体医用システム工学科に進学しました。そして、学部時代の講義の一環としてテルモで働く先輩から事業内容を聞く機会があり、血管内治療という分野に興味を持つようになりました。その後、学部3年次から所属した生嶋研究室では、超音波を用いて腱や血管等の生体軟組織の評価を行う研究に従事。大学院時代には生体軟組織の線維配向性を非侵襲で評価する方法を2024年の「超音波エレクトロニクス基礎と応用に関するシンポジウム」で発表し、「Young Scientist Award」を受賞するという貴重な経験ができました。

企業研究者としてのキャリアはまだ始まったばかり。患者さんと医療従事者の方にとって大きな助けになる医療機器を開発するのが目標です！

進路（就職・進学）ガイダンス（令和7年度参考）

- 4月 ● 進学・就職ガイダンス（進路の選択肢の考え方についてほか）
● 就職ガイダンス（インターンシップ・仕事体験活用術ほか）
- 5月 ● 公務員ガイダンス（公務員の仕事内容・試験制度・試験対策についてほか）
● 就職ガイダンス（筆記試験対策・WEBテスト対策講座ほか）
- 6月 ● 大学院進学説明会
● 就職ガイダンス（筆記試験対策講座ほか）
- 8月 ● 合同企業研究会

- 9月 ● 就職ガイダンス（インターンシップ・就職活動の始め方ほか）
- 10月 ● 就職ガイダンス（選考対策・仕事体験活用術ほか）
- 11月 ● 外国人留学生に対する就職ガイダンス
- 1月 ● 就職ガイダンス（エントリーシート・面接についてほか）
- 2月 ● 合同企業研究会
● 進路・就職ガイダンス（低学年向け自己分析講座ほか）

進路・就職サポート

“未来の自分探し”をお手伝い

東京農工大学では、学生一人ひとりの進路や就職に関する悩みや相談に応えられるように、豊富な経験と知識を有する相談員（キャリア・アドバイザー）を学外から招へいし、みなさんの相談に応じています。また、就職情報コーナーを各キャンパス学生支援室に設け、随時企業情報の収集等ができるようにしています。



学部卒業生・大学院修了生の 地方・国家公務員就職者数

年度	地方公務員	国家公務員
令和6	19人	16人
令和5	19人	22人
令和4	17人	15人

※学部卒業生、大学院修了生の合計

CAREER 進路・就職

農学部

生物生産学科

アドフル日進、NSW、エンライズソリューションズ、日本郵政、日本クリーンファーム、日本デルモンテ、NOSAN、農林水産消費安全技術センター、ホクレン農業協同組合連合会、森永乳業、茨城県、埼玉県(2名)、広島県、進学/東京農工大学(42名)、東京大学(2名)、京都大学

応用生物科学科

AGRI SMILE、味の素、カルビー、TPコーポレーション、東京X、日本IBM、新潟県、岡山市、進学/東京農工大学(53名)、東京大学(2名)、東京科学大学、京都大学(3名)

環境資源科学科

一条工務店、NEC、NBE、Gakken、クボタ、Sky、生和コーポレーション、日本ゼオン、府中市、進学/東京農工大学(47名)、京都大学

地域生態システム学科

アイドマ・ホールディングス、アクシーシア、王子ホールディングス、オリエンタルランド、三機工業、TBSアクト、東京ガスネット、日本建設情報総合センター、農林水産消費安全技術センター、日立システムズ、富士グリーンテック、ポリテック・エイディ、マガジンハウス、農林水産省、北海道、千葉県、鎌倉市、進学/東京農工大学(35名)、北海道大学(2名)、東京大学(4名)、岐阜大学、京都大学

農学府(修士課程)

生物生産科学コース

イオンフードサプライ、ウィーメックス、NCI総合システム、家畜改良事業団、亀田製菓、カルビー、キッセイ薬品工業、キリンホールディングス、埼玉原種育成会、サカタのタネ、山九、JA全農、ジェイコムアグリ、シロ、新宿中村屋、青年海外協力隊、双日、全国酪農業協同組合連合会、大和総研、タケショー、TIS、東京農工大学、東ソー、日経BP、日清オイログループ、日清製粉、日清丸紅飼料、日本IBM、日本化学産業、日本曹達(2名)、日本調剤、日本農業(2名)、農業・食品産業技術総合研究機構(2名)、農林水産消費安全技術センター、BIKEN、富士フィルムシステムサービス、フューチャー、松田産業、ヤマサ醤油、ユアサ商事、ユニチャーム、国税庁、茨城県、進学/東京農工大学(5名)、東京大学

応用生命化学コース

アサヒビール、味の素AGF、天野エンザイム、王子ホールディングス(2名)、関東化学、キッコーマンバイオケミファ、キュービー(3名)、協友アグリ、小林製薬、三栄源エフ・エフ・アイ、三幸製菓、昭和産業(2名)、セック、ダイキン工業、中外医学研究所、ナカタン、日油、ニチレイフーズ、日清製粉、農業・食品産業技術総合研究機構、長谷川香料(2名)、不二製油、マルハニチロ、武蔵野化学研究所、明治、森永乳業、横河ソリューションサービス、ライオン、ロッテ、ワールドインテック、進学/東京農工大学(2名)、京都大学

自然環境資源コース

IIJグローバルソリューションズ、アジレント・テクノロジー(2名)、アドバンテック、アルファポリス、飯野海運、いであ(2名)、NHK、NHKアート、王子ホールディングス(2名)、カンロ、建設技術研究所(2名)、アグリセンター、フォスター電機、富士フィルムビジネスイノベーション、ポリプラスチックス、みずほフィナンシャルグループ、三菱製紙、三菱マテリアル、名精産業、八千代エンジニアリング(2名)、ヤマト科学、リニューアブル・ジャパン、農林水産省(2名)、林野庁、東京都(5名)、進学/東京農工大学(8名)

食農情報工学コース

SBテクノロジー、鹿島建設、東亜建設工業、日本工営、ハビラインふくい、フューチャー、北海道開発局、水資源機構、石川県、進学/東京農工大学

地球社会学コース

科学技術振興機構、国際農林水産業研究センター、シー・エス・ランパー、スガノ農機、MIC、農林水産省、進学/東京農工大学(6名)

国際イノベーション農学コース

オリエンタル酵母工業、カゴメ、兼松、三祐コン

卒業生の進路状況



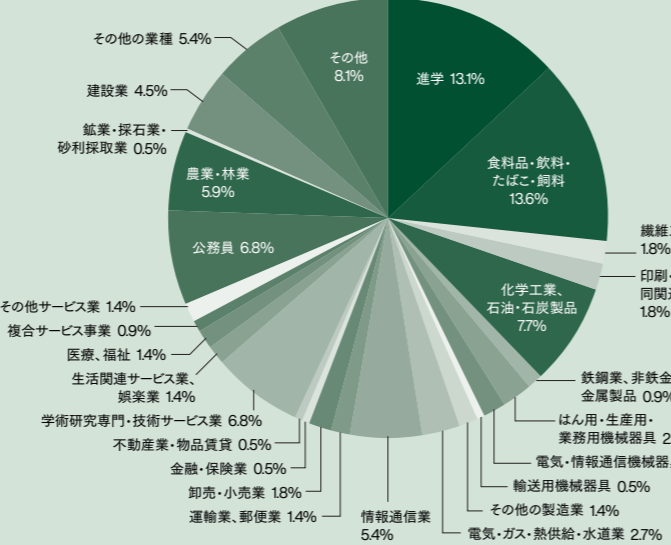
※その他は無回答を含む

共同獣医学科

アクセンチュア、浦和動物医療センター、おがた動物病院、小滝橋動物病院グループ、協同乳業、社台ホースクリニック、第一三共、大鵬薬品工業、タル

タ動物病院、千葉中央動物病院、動物総合医療センター、どうぶつ総合病院、猫の診療室モモ、NOSAI宮崎、藤原動物病院、ホンド動物病院、れんがのいえ動物病院、東京大学(2名)、進学/東京農工大学(5名)、北海道大学

修了生の就職先状況



サルタンツ、日本設計工業、やまびこ、ワールドインテック、Agency of Plant Protection and Quarantine of the Republic of Uzbekistan, Ministry of Agriculture and Rural Development, Ministry of Agriculture and Rural Development, 特許庁、進学/東京農工大学(5名)

KEUR DIARAF, Ministry of Agriculture of the Republic of Uzbekistan, Trip.com, Vietnam Academy of Agricultural Sciences, Ministry of Agriculture and Rural Development, 特許庁、進学/東京農工大学(5名)

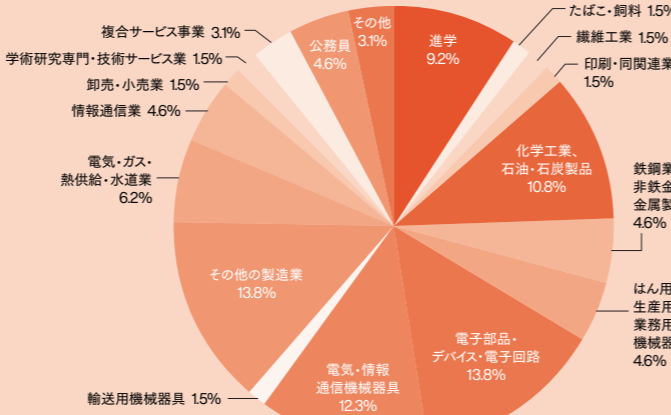
生物システム応用科学府(博士前期課程)

生物機能システム科学専攻

ACCESS、イー・ガーディアン、AGC、NOK、NTT東日本、ENEOS、OATアグリオ、岡山村田製作所、オムロン、オルガン、キーエンス、共同カイテック、クレハ、国際電気、小松製作所、JA全農、JFEスチール、シンジェンジャパン、スター精密、住友電工、精研、セーレン、ダイキン工業、大日本印刷、太陽ホールディングス、東京エレクトロニクス(3名)、東京電力ホールディングス(2名)、東芝デバイスソリュー

ション、DOWAホールディングス、ニコン、西川、日油、日機装、日産化学、日産自動車、日清エンジニアリング、日本電気、パナソニックオートモーティブシステムズ、パナソニックホールディングス(2名)、富士電機、富士フィルム医療ソリューションズ、富士フィルムビジネスイノベーション、ベルグアース、マジクロンモリジヤパン、美津濃、三菱電機エンジニアリング、村田製作所、MonotaRO、ライオン、Rapidus、レゾナック、国土交通省、仙台市、東京都、進学/東京農工大学(6名)、大阪大学

修了生の就職先状況



東京農工大学の卒業生・修了生は、就職先から高い評価を受け、毎年多くの求人が寄せられます。大学で培った学びと経験を土台に、一般企業や官公庁、地方自治体などで社会人としての歩みをスタート。それぞれの現場で信頼を積み重ね、社会から求められる人材として第一線で活躍しています。

工学部

生命工学科

アステラス製薬、新菱冷熱工業、東芝ユニファイドテクノロジーズ、日立システムズ、福島さくら農業協同組合、本田技研工業、武蔵エンジニアリング、教員、進学/東京農工大学(67名)、筑波大学、東京大学(2名)

生体医用システム工学科

Dari Japan、東芝インフラシステムズ、ホリゾン、マーブル、進学/東京農工大学(45名)、東北大学、北陸先端科学技術大学院大学、東京科学大学(3名)、奈良先端大学

応用化学科

NTN、セーレン、日本貨物鉄道、バリューマネジメント、本田技研工業、三井化学、森六、ヤマウチ、進学/東京農工大学(73名)、東京大学(2名)、東京科学大学、筑波大学

化学物理工学科

アイヴィス、エーアイネット・テクノロジー、学究社、

キミカ、コムチュア、ジップス、スタンレー電気、SUBARU、日清紡マイクロデバイス、ニッポン高度紙工業、日本総合研究所、富士通、三菱ケミカルエンジニアリング、三菱プレジジョン、東京都、大阪府、進学/東京農工大学(67名)、東北大学、東京科学大学、電気通信大学、一橋大学、Portland State University

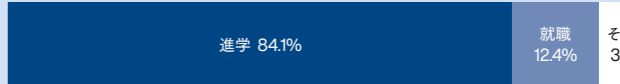
機械システム工学科

オープンハウスグループ、シーエーシー、スズキ、東京電力ホールディングス、東芝エレベーター、日清食品、パーソルビジネスプロセスデザイン、パナソニックホールディングス、マツダ、特許庁、進学/東京農工大学(98名)、東北大学(2名)、筑波大学、東京大学、東京科学大学、東京工業大学、航空大学校、早稲田大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学

知能情報システム工学科

AVEC、EY 日本、宇宙技術開発、NECソリューションイノベータ、クボタ、Grand Central、埼玉金

卒業生の進路状況



※その他は無回答を含む

電気電子工学科

周、GA Technologies、図研ネットワーク、東京電力ホールディングス、東芝、東芝エネルギーシステムズ、東芝デジタルソリューションズ、東芝デバイスソリューション、トヨタシステムズ、日本航空電子工業、日本電気(2名)、日本プロセス、東日本旅客鉄道、BlueMeme、武蔵エンジニアリング、東京都、進学/東京農工大学(98名)、東北大学、筑波大学、東京科学大学、総合研究大学院大学、大阪大学

物理システム工学科

Nuoco、レバレージュ

情報工学科

京楽ビックチャーズ、進学/東京農工大学

工学府(博士前期課程)

生命工学専攻

IQVIA サービスジャパン、味の素、アステラス製薬、ADEKA、アポットダイアグノスティクスメディカル、伊藤ハム、イービーエス、H.U.グループホールディングス(2名)、エイターヘルスケア(2名)、エーザイ、AGC、NTTExCパートナー、エプソン販売、大塚製薬(2名)、小野薬品工業、花王(2名)、KEYENCE、キヤノン、QREATION、協和キリン、興和、SCIEX、JERA、シスメックス(2名)、シミツク、白鳥製薬、住友化学、住友重機械工業、積水化学工業、積水メディカル、大日本印刷、太陽日酸、ディーエイチシー、テルモ(3名)、東京農工大学、東芝、日本血液製剤機構、日本デルモンテ、日本電気、PHC、日立ハイテック(2名)、ベース、マレーシア農業研究開発研究所、三井化学、UCC上島珈琲、進学/東京農工大学(10名)、筑波大学

物理システム工学専攻

進学/東京農工大学

電気電子工学専攻

進学/東京農工大学

情報工学専攻

カウリス、進学/東京農工大学

生体医用システム工学専攻

NTTデータ、オリンパス(3名)、キヤノン(2名)、KSK、国立印刷局、コニカミノルタ、サントリー、シスメックス、セイコーエプソン、積水メディカル、ソニーセミコンダクタソリューションズ、大成建設、テルモ(4名)、東京ガス、ニコン、日揮、ニプロ、野村総合研究所、パナソニックコネク、日立ハイテック(3名)、富士フィルム(2名)、横河計測、進学/東京農工大学(2名)

化学物理工学専攻

アズビル、アドバンテック、アビームコンサルティング、中国電力ネットワーク、デロイトトーマツ アウト、電源開発、東海旅客鉄道、東京エレクトロン、東京精密、東京電力ホールディングス、東芝インフラシステムズ、東芝デバイス&ストレージ、トヨタ自動車、豊田自動織機、トラスティシステム、ニコシステム、日産自動車(2名)、日本IBM、日本アイ・ビー・エム システムエンジニアリング(2名)、NTTデータSMS、NTTデータグループ(2名)、NTTデータ先端技術、NTTドコモ(3名)、エプリー、沖電気工業、川崎重工業、北電子、キヤノン(3名)、クオリカ、クボタ、KDDI(2名)、コアコンセプト・テクノロジー、コーエーテックモホールディングス、コスモ・コンピューティングシステム、サントリーホールディングス、JVCケンウッド、清水建設、シャープ、住友電気工業、セコム、総合警備保障、ソニー、ソニー・インタラクティブエンター

機械システム工学専攻

IHI(2名)、IHIエスクープ、アズビル、いすゞ自動車、宇宙航空研究開発機構、AGC、NTN、荏原製作所、オリンパス、川崎重工業(3名)、キヤノン、クボタ、コーセー、小松製作所(2名)、産業技術総合研究所、JERA、清水建設、SCREENセミコンダクタソリューションズ、住友重機械工業(2名)、ソフィックス、大和総研、千代田化工建設、DMG森精機、ディスコ、テルモ、デンソー、東海旅客鉄道、東京エレクトロニクス(3名)、東京エレクトロニクス、東京海上日動システムズ、東京ガス、トヨタ自動車、日産自動車(3名)、日放電子、日本航空(2名)、日本電気、農中情報システム、東日本旅客鉄道、日立グローバルライフソリューションズ、日立建機、日立製作所、ファナック(2名)、富士通、富士電機(3名)、富士フィルムビジネスイノベーション、フューチャー、

本田技研工業(5名)、マキタ、三菱重工業(4名)、三菱電機、三菱UFJ銀行、横河電機、特許庁、進学/東京農工大学(6名)

物理システム工学専攻

進学/東京農工大学

電気電子工学専攻

進学/東京農工大学

情報工学専攻

カウリス、進学/東京農工大学

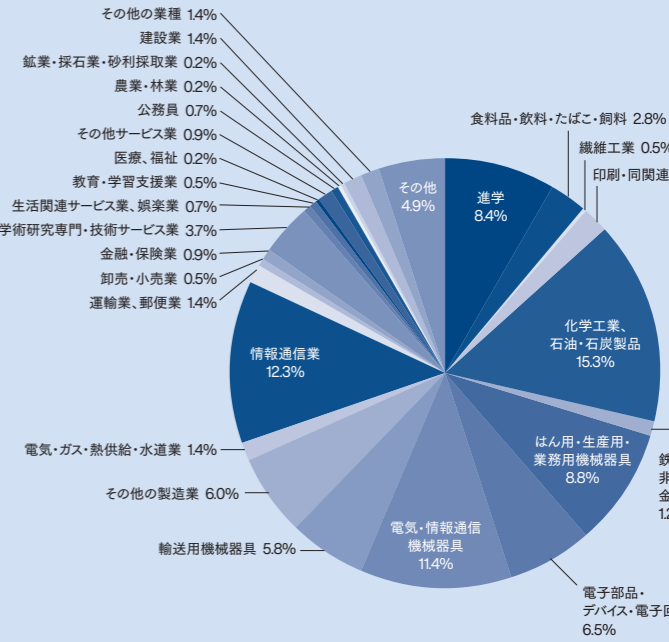
生体医用システム工学専攻

NTTデータ、オリンパス(3名)、キヤノン(2名)、KSK、国立印刷局、コニカミノルタ、サントリー、シスメックス、セイコーエプソン、積水メディカル、ソニーセミコンダクタソリューションズ、大成建設、テルモ(4名)、東京ガス、ニコン、日揮、ニプロ、野村総合研究所、パナソニックコネク、日立ハイテック(3名)、富士フィルム(2名)、横河計測、進学/東京農工大学(2名)

化学物理工学専攻

アズビル、アドバンテック、アビームコンサルティング、中国電力ネットワーク、デロイトトーマツ アウト、電源開発、東海旅客鉄道、東京エレクトロン、東京精密、東京電力ホールディングス、東芝インフラシステムズ、東芝デバイス&ストレージ、トヨタ自動車、豊田自動織機、トラスティシステム、ニコシステム、日産自動車(2名)、日本IBM、日本アイ・ビー・エム システムエンジニアリング(2名)、NTTデータSMS、NTTデータグループ(2名)、NTTデータ先端技術、NTTドコモ(3名)、エプリー、沖電気工業、川崎重工業、北電子、キヤノン(3名)、クオリカ、クボタ、KDDI(2名)、コアコンセプト・テクノロジー、コーエーテックモホールディングス、コスモ・コンピューティングシステム、サントリーホールディングス、JVCケンウッド、清水建設、シャープ、住友電気工業、セコム、総合警備保障、ソニー、ソニー・インタラクティブエンター

修了生の就職先状況

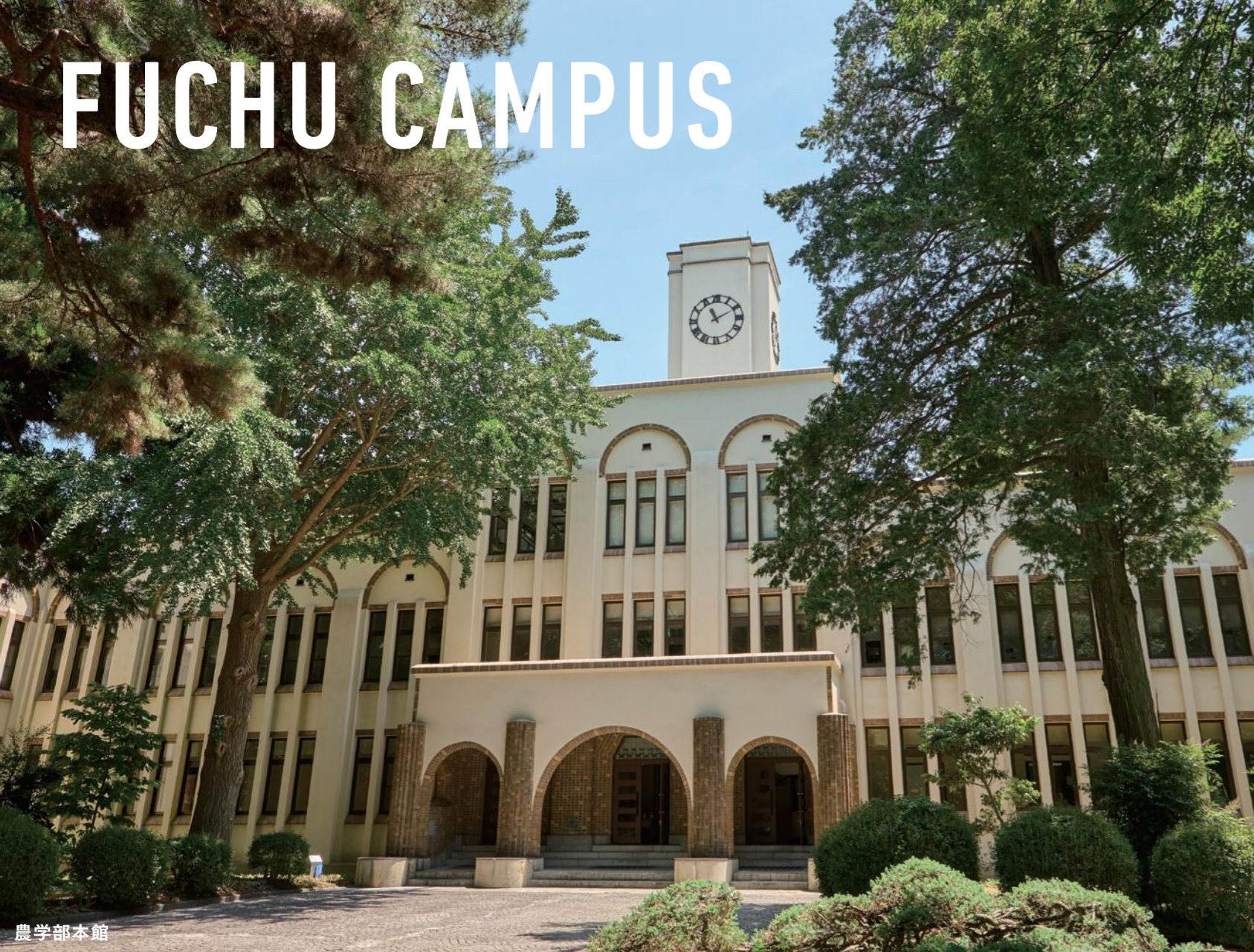


産業技術専攻

秋田DNライティング、アサヒ飲料、いすゞ自動車、川崎重工業、キヤノン、キュービー、小松製作所、生化学工業、石油資源開発、筑波大学、デクセラテムズ、東芝デバイス&ストレージ、トヨタ自動車、豊田自動織機、トラスティシステム、ニコシステム、日産自動車(2名)、日本IBM、日本アイ・ビー・エム システムエンジニアリング、DOWAハイテック、TOPPANホールディングス、ニチバン、日産自動車、日本精工、日本電気、パナソニックホールディングス、東日本旅客鉄道、日立製作所、富士フィルムビジネスイノベーション、プリチストン、本田技研工業、マッスル、丸紅、みずほ銀行、三井化学、村田製作所、横浜ゴム、LINEヤフー、理研計器、リコー(2名)、リソテック、RESVO、レゾナック

2024年度実績 2026年1月現在

FUCHU CAMPUS



農学部本館



先進植物工場研究施設



農工夢市場



本館 大講堂



動物医療センター

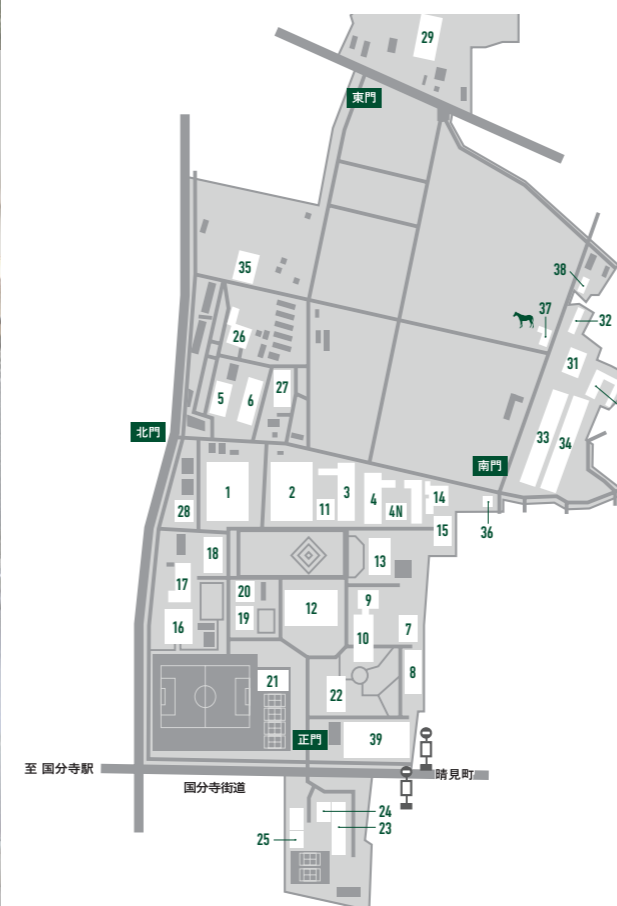


遺伝子実験施設

府中キャンパス

東京都内にありながら、約27万平方メートルという広大な敷地を誇る府中キャンパス。緑あふれる構内には、講義棟や研究棟、先進の研究施設が設置されており、自然に恵まれた環境で学ぶことができます。さらに、広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センターの農場が広がっています。

CAMPUS MAP



- | | |
|--------------------|------------------------------------|
| 1 1号館 | 21 運動場附属施設 |
| 2 2号館 | 22 学生系事務棟 |
| 3 3号館 | 23 本部管理棟 |
| 4 4号館 | 24 保健管理センター |
| 4N 新4号館 | 25 50周年記念ホール |
| 5 5号館 | 26 広域都市圏
フィールドサイエンス教育
研究センター |
| 6 6号館 | 27 遺伝子実験施設 |
| 7 7号館 | 28 農学部RI研究室 |
| 8 8号館 | 29 乳牛舎 |
| 9 9号館 | 30 府中国際交流会館 |
| 10 農学部第1講義棟 | 31 楓寮(女子寮) |
| 11 農学部第2講義棟 | 32 府中第2宿舎(職員宿舎) |
| 12 農学部本館・科学博物館分館 | 33 府中幸町宿舎(職員宿舎) |
| 13 府中図書館 | 34 府中第4住宅(職員宿舎) |
| 14 動物医療センター | 35 先進植物工場研究施設 |
| 15 硬蛋白質利用研究施設 | 36 農工夢市場・事務室 |
| 16 府中体育館 | 37 厩舎 |
| 17 総合屋内運動場施設 | 38 檜寮(男子寮・女子寮) |
| 18 福利厚生センター | 39 遊運館
(西東京国際イノベーション共創拠点) |
| 19 大学院連合農学研究科管理研究棟 | |
| 20 府中先進学際科学府棟 | |



馬術部



檜寮



府中図書館



農学部食堂



農場



牛舎

KOGANEI CAMPUS



140周年記念会館（エリpos）



中庭



新1号館



テックガレージ（ディーブテック産業開発機構）



東門



小金井図書館



榎並木



科学博物館

学術研究支援総合センター

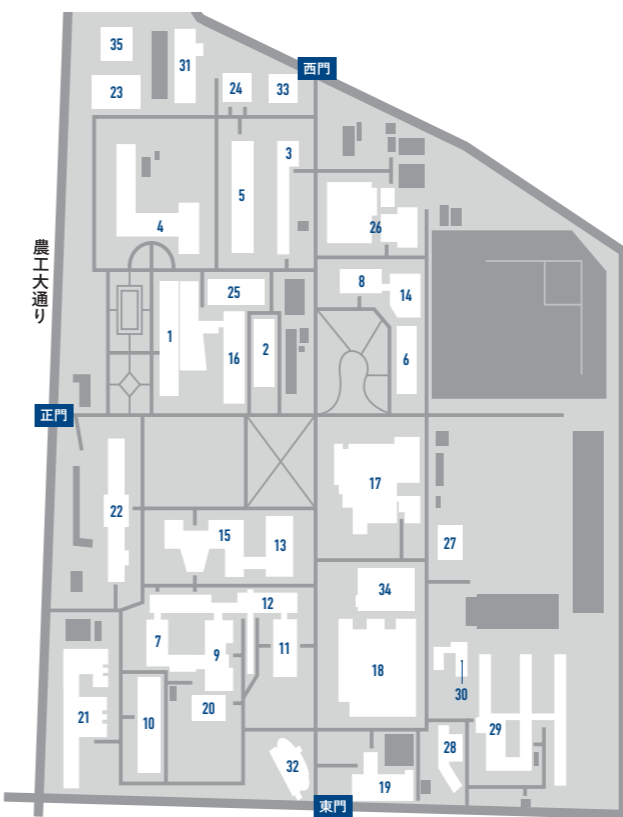
ものづくり創造工学センター

榎寮

小金井動物救急医療センター

小金井キャンパス

豊かな自然に恵まれ、榎並木と銀杏並木が印象的な小金井キャンパス。都心から電車で30分圏内と好立地に位置し、工学の基礎から応用までを学ぶ講義棟をはじめ、研究開発に取り組む各種施設が立ち並びます。国内外の最先端を担う研究開発を行うのに適した環境となっています。



CAMPUS MAP

- | | |
|--------------------------|--|
| 1 1号館 | 18 BASE本館 |
| 2 2号館 | 19 工学部総合会館 |
| 3 3号館
(ディーブテック産業開発機構) | 20 CAD/CAM実習棟 |
| 4 4号館 | 21 先端産学連携研究推進センター |
| 5 5号館 | 22 科学博物館 |
| 6 6号館 | 23 先端科学実験棟 |
| 7 7号館 | 24 環境管理施設 |
| 8 8号館 | 25 ものづくり創造工学センター |
| 9 9号館 | 26 体育館・武道場 |
| 10 10号館 | 27 工学部RI研究棟 |
| 11 11号館 | 28 小金井国際交流会館 |
| 12 12号館 | 29 榎寮(男子寮) |
| 13 13号館
(グローバル教育院) | 30 榎寮(女子寮) |
| 14 14号館 | 31 小金井第2宿舍(職員宿舎) |
| 15 工学部講義棟 | 32 140周年記念会館(愛称:エリpos) |
| 16 新1号館 | 33 次世代キャパシタ研究センター |
| 17 小金井図書館 | 34 管理棟(愛称:CUBE)
(小金井地区事務所・保健管理センター) |
| | 35 小金井動物救急医療センター |

農工大生の1日

ONEDAY

授業や課題、研究に集中する日もあれば、サークルや部活動、アルバイト、そして友人との楽しいひとときを過ごす日も。多忙ながらも充実した農工大生の1日をご紹介します。



大学院農学部
農学専攻生物生産科学コース
修士課程2年

澤田響希

SAWADA, Hibiki

石川県立金沢二水高等学校出身

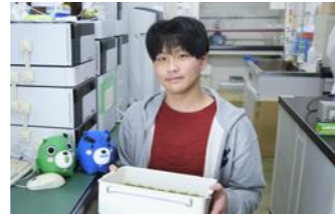


時間割サンプル 学部1年前期はこんな授業をとっていました！

限		月	火	水	木	金
1	08:45-10:15	Paragraph Writing	生態・進化学	日本国憲法	地学	English Discussion
2	10:30-12:00	物理化学	生涯スポーツ実技	植物分子遺伝学	動物・植物科学	生物生産学原論
3	13:00-14:30			畜産学総論	International Cooperation of Science and Technology	
4	14:45-16:15	生物学実験 化学実験		微分積分学Ⅰ	フランス語Ⅱ	フィールド実験 実習Ⅱ
5	16:30-18:00			Japanese Culture		

SCHEDULE

- 07:00** 起床。朝食を済ませると、論文やニュースをチェックします。
- 09:00** 研究室に到着。前日のサンプルの回収や植物の観察などを進めます。
- 10:00** 研究進捗や今後の計画について、ポスドクの方に相談します。
- 12:00** 昼食。実験の待ち時間を有効活用します。
- 16:00** 実験終了。当日の結果をまとめます。
- 17:00** 次の日の実験の確認、今後の計画の修正などを行います。
- 18:00** 帰宅。仮眠や映画鑑賞をして過ごすことが多いです。
- 21:00** 明日の準備。その日の内にしなくてはならない作業を終わらせます。
- 22:30** 就寝。日によっては散歩することもあります。



植物の機能解明が目標



デスクで実験結果をまとめる

尊敬できる先生や学生と出会うことのできる環境

現在、学生生活で最も力を入れていることは研究です。グルタチオンという物質を対象に、植物の生体内における機能を解析しています。それと並行し、個別指導の学習塾でアルバイトを継続。両立は苦労も多いですが、生徒の頑張る姿を見ることが刺激になっています。農工大の魅力は、好きなことに熱中している先生や学生と交流できること。人間性や知識量を含め、尊敬できる人との出会いが数多くありました。学部3年次の留学も貴重な経験になったので、今後も多くのつながりを求めて多様な環境に身を置きたいと考えています。



農学部応用生物科学科4年

坂本陽

SAKAKI, Minami

埼玉県立大宮高等学校出身

時間割サンプル 学部2年後期はこんな授業をとっていました！

限		月	火	水	木	金
1	08:45-10:15	数理統計学				機器分析化学
2	10:30-12:00		食品化学Ⅰ	微生物生化学	キャリアプランニング	バイオロジカルコントロール
3	13:00-14:30	生物相関学		有機合成化学		
4	14:45-16:15	天然物有機化学	応用生物科学科 共通実験Ⅰ・Ⅱ/ 専門実験Ⅰ	無機化学	応用生物科学科 共通実験Ⅰ・Ⅱ/ 専門実験Ⅰ	応用生物科学科 共通実験Ⅰ・Ⅱ/ 専門実験Ⅰ
5	16:30-18:00					

SCHEDULE

- 07:30** 起床。大学には埼玉の実家から通っています。
- 09:00** 登校。実験の授業が楽しく好きです。
- 12:00** 昼食。友人と弁当を食べることが多いですが、たまに学食に行くこともあります。
- 13:00** 午後からの授業を受講。
- 17:00** テコンドー部の活動に参加。火・金は農学部、月・水・土は工学部で活動があるので、好きな日に活動に参加しています。
- 22:30** 帰宅。夕食とお風呂を終え、課題に取り組みます。自由時間にはSNSや動画を見て過ごします。
- 23:30** 就寝。



友人たちと図書館で勉強



テコンドー部の練習

初心者からテコンドーに挑戦 部活も授業も充実した毎日

私はテコンドー部に所属しており、日々の練習に汗を流しています。大学に入ってから新しく始めた競技ですが、部員のほとんどが未経験から始めるので気軽に始めることができました。学年や学部の異なる多様な部員と一緒に楽しく活動しています。部活動以外の時間は、同じ学部の友人たちと過ごすことが多いです。協力して課題に取り組んだり、話しながら食事したり……。農工大はあまり人数が多い大学ではないため、すぐに周囲に溶け込める環境です。部活や授業を通じて、充実した学生生活を送ることができますよ！



大学院工学部
機械システム工学専攻
博士前期課程1年

森本紗羽

MORIMOTO, Suzu

千葉県立千葉高等学校出身



丁寧な指導を受けながら 研究生活を満喫しています！

農工大を志望したのは、高校時代の課題研究で携っていた分野を専門としている研究室があったから。研究発表を利用したSAIL入試（総合型選抜）で入学しました。入学後に力を入れているのは、研究室の活動です。3年次後期から仮配属となり、現在は本格的な研究がスタートしています。取り組んでいるのは、薬剤送達などに利用できる高濃度マイクロゲル粒子を生成するための研究。安定して均一な球体粒子を生成するために、実験と観察を繰り返しています。農工大は先生との距離も近く、充実した研究生活を送っています！

時間割サンプル 学部1年前期はこんな授業をとっていました！

限		月	火	水	木	金
1	08:45-10:15		現代宗教論	力学Ⅰ	工学基礎実験	線形代数学Ⅰ
2	10:30-12:00		基礎ゼミ	機械システムデザイン		体力学実技
3	13:00-14:30	機械製図法	スペイン語		微分積分学Ⅰ および演習	
4	14:45-16:15	アカデミックライティング	微分方程式	EETCI TOEFL対策		Integrated English
5	16:30-18:00		キャリアプランニング		力学Ⅱ	

SCHEDULE

- 09:00** 起床。実家から大学まで片道100分かかります。
- 11:00** 研究室到着。PCを立ち上げてメールチェックや実験準備からスタート。
- 13:30** 遅めの昼食。その日の気分次第で外に出るか居家で軽く済ませるか決めます。
- 14:30** 研究再開。実験や資料作成を行います。
- 19:00** 研究終了。友人と会って夜ご飯を一緒に食べることも。
- 21:00** 帰宅はだいたいこの時間。外食をしなければ、家で遅めの夕食。
- 22:00** 自由時間。ゲームをしたり明日の準備をしたりゆっくり過ごします。
- 25:00** 就寝。日によっては前後します。



電子顕微鏡でマイクロゲル粒子を観察中



小金井キャンパスは最寄り駅から近く、自然もあって、過ごしやすい環境です！

時間割サンプル 学部1年後期はこんな授業をとっていました！

限		月	火	水	木	金
1	08:45-10:15	物理化学Ⅰ		微分積分学Ⅱ および演習		工学基礎実験
2	10:30-12:00	無機化学Ⅰ	歴史学		English Discussion	
3	13:00-14:30	有機化学Ⅱ	振動・波動の物理	化学英語		生涯スポーツ実技
4	14:45-16:15		中国語Ⅱ		線形代数学Ⅱ	Paragraph Writing
5	16:30-18:00					地学

SCHEDULE

- 07:00** 起床。通学には電車を利用し、東小金井駅から歩きます。
- 08:45** 登校。実験系の授業は2コマにわたって受講する場合があります。
- 12:00** 工学部の生協で昼食。毎日のメニューを写真に残しています。
- 13:00** 午後の授業。専門分野のほか、体育でバスケットボールを楽しんだり、語学で英語を学んだりもします。
- 17:30** 農学部に移動して部活に参加。2時間以上練習します。
- 20:00** 友人と夕食。キャンパス周辺にはラーメン屋やカレー屋など、魅力的な飲食店がいっぱいです。
- 22:00** 帰宅。課題などを終わらせると、ゲームやSNSチェックをして休憩します。
- 24:00** 就寝。



学食で友人たちと昼食



工学部から農学部のある府中キャンパスへ移動して部活動

工学部応用化学科3年

檀上真大

DANJO, Mahiro

私立城北学園高等学校出身

弓道部の仲間と農工祭に出店 自然豊かなキャンパスが大学の魅力

中学時代から取り組んできた弓道を、大学に入ってから部活動として続けています。弓道の魅力は、矢を放つまでの一連の感覚を磨いていく過程にあります。年に1度のリーグ戦に向け、夏休みの間も練習に励んできました。また、農工祭では弓道部の仲間たちと一緒に、模擬店をみたらし団子を販売。惣菜屋でアルバイトをしている私は副店長を務め、無事に成功させることができました。農工大は理系の大学ですが、キャンパスには自然が溢れています。恵まれた環境の中で学生生活を過ごしたいという方におすすめですね！

CLUB & CIRCLE

東京農工大学では、府中・小金井キャンパスの垣根を越えて、文化系から体育会系まで、さまざまなクラブ & サークルが活動しています。共通の趣味や特技を持った仲間と充実したキャンパスライフを送ることができます！



CLOSE-UP!



左 府中キャンパスの大学祭「農工祭」では、シカの角を使ったアクセサリを販売しています
右 部長 神山依子さん（農学部地域生態システム学科4年）

狩り部

**リアルな「狩猟」を体験できる
農工大ならではのユニークな部活**
野生動物管理のための「狩猟」をテーマにした活動を行っています。週1回の部会では、狩猟をする際の森の歩き方や狩猟免許取得の方法をはじめ、部員の関心のあることについて勉強会をしています。毎年11月～2月の猟期には、狩猟免許を取得している現役猟師さんや先輩に同行して実際に狩猟を見学し、シカやイノシシなどの捕まえ方、仕留め方を学びます。最近では部費で免許取得費用の助成も始めました。猟期外には、ジビエを購入して部員で料理して食べるジビエ会をはじめ、各部員がやりたいことを企画しています。狩り部の魅力はやりたいことになんでも挑戦できること。動物好き、山好き、骨好き、みんなあつまれ！

TUAT Formula

みんなでフォーミュラカーをつくり上げる楽しさは格別！

毎年9月に開催される「学生フォーミュラ 日本大会」のICVクラス（エンジン車）への出場を目的とした機械システム工学科公認のものづくりサークルです。フォーミュラカーを1から自分たちで、設計・製作し走らせています。

大会では車両のタイムを競う動的審査と、書類の完成度を競う静的審査があります。

車両を製作して走行するだけでなく、設計の理由や根拠、車両のコストや製作方法の正確さを評価されるため、ものづくりの総合力を高められます。

小金井キャンパスに部室があり、週1回の部会が最低限の活動です。1つのマシンをメンバーと力を合わせてつくり上げる楽しさはたまらないと思います！



左 2025年9月の「全日本 学生フォーミュラ大会」に出場したマシンとメンバー
右 チームリーダー東脇青矢さん（工学部機械システム工学科3年）



モダンジャズ研究会



ジャグリングサークル @jug



サッカー部



航空研究会

ラート競技部



musset



自転車部



競技かるた

ミニホースの会



変わり種工房



馬術部



文化系サークル

- TUAT Buddy Club
- SF研究会
- TUAT Formula
- アカベラサークル ANIT
- 囲碁部
- 歌研究会
- 宇宙工学研究部Lightus
- 映画・映像研究部
- エレクトーンサークル音風
- 演劇部
- カードゲームサークル
- 管弦楽団
- 一橋・津田塾・農工大ギター部
- 競技かるた
- グリークラブ
- 軽音部
- 航空研究会
- 昆虫研究会
- 作曲・DTMサークル
- 表千家 茶道部
- 児童文化研究会
- ジャグリングサークル@jug
- 写真部
- 将棋部
- 植物研究会
- 吹奏楽団
- ステージ研究会
- 電脳サークル
- 旅と鉄道研究会
- カードゲームサークル
- 天文部
- ピアノ部
- 美術部
- 文芸部
- マイクロコンピュータクラブ
- まちけん
- 漫画研究会
- ミニホースの会
- モダンジャズ研究会
- 野生動物研究会
- 落語研究会
- ロボット研究会R.U.R
- 民族舞踊部
- のこぼけ
- Google Developer Groups On Campus TUAT
- IAESTE同好会
- 農工大麻雀部ニサナ

体育系サークル

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- オリエンテーリング部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- Guarana Tennis Club
- 硬式野球部
- サッカー部
- 自転車部
- 竹桐会
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部 FELOZE
- ソフトテニス部
- ソフトボール部
- 卓球部
- 探検部
- テコンドー部
- 馬術部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハングライダー部
- Flying Chicken
- ヨット部
- ラート競技サークル
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- 硬式庭球部
- ダンスサークル rough
- ツーリングカヌー部
- ハンドボール部

自主ゼミ

- 狩り部
- 変わり種工房
- 耕地の会
- ConnectA
- ごみダイエットNOKO
- 食農ゼミ
- 農工やさい塾
- のこすまいと
- のたっと
- ミミズコンポスト
- 管理局
- MOWゼミ
- 森づくりの会
- 森の派出所
- 養蜂サークル
- 発酵ラボ
- バラ会
- Cet
- プラごみ減らし隊
- TUAT援農隊

科学博物館支援団体

- musset



学生生活サポート

経済面から学習環境、日常生活に至るまで、誰もが安心して過ごせるサポート体制を整えています。

健康・相談総合支援機構 保健管理センター

府中キャンパス、小金井キャンパスにそれぞれ設置しています。本センターでは、学生の心身の健康維持・増進を図るため、医師、カウンセラー、看護師、非常勤学校医が協力して、健康相談、カウンセリング、定期健康診断、病気やけがの応急処置などを行っています。

府中キャンパス 保健管理センター



場所 | 府中キャンパス正門向かい
予約・お問い合わせ | TEL 042-367-5548・5189
受付日時 | 月～金：9:00～16:30

小金井キャンパス 保健管理センター



場所 | 小金井キャンパス管理棟1階(専用入口有り)
予約・お問い合わせ | TEL 042-388-7171
受付日時 | 月～金：9:00～16:30

特別修学支援室



身体や感覚機能に障がいのある学生、その他さまざまな修学上の問題を抱える学生を支援しています。
お問い合わせ | 各保健管理センター
FAX 042-367-5559

工学部総合会館・農学部福利厚生センター等

学生の憩いの場、学生同士や学生と教職員の親睦を図るための施設として農学部内に「農学部福利厚生センター」、工学部内に「工学部総合会館」の施設を設置。そのほか、学生の課外活動やレクリエーション等のための合宿研修施設も用意しています。また、東京農工大学消費生活協同組合では食堂をはじめ、大学生活に便利な文房具・オリジナルグッズの販売を行っています。



工学部総合会館

奨学金

東京農工大学では、学生一人ひとりに合わせて奨学金を用意しています。奨学金には、いくつか種類があり東京農工大学独自の奨学金、日本学生支援機構の奨学金、地方公共団体・民間団体等の奨学金などがあります。

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与・給付を受けるには、経済的に困難というだけでなく、成績等も含めた選考のうえ採用となります。※学部生対象

日本学生支援機構奨学金	
第一種奨学金(無利子)	
自宅通学者	45,000円、30,000円、20,000円(月額)から選択
自宅外通学者	51,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)から選択
第二種奨学金(有利子)	
申込者の経済的な必要度に応じて月額2万円～12万円の中から、1万円単位で選択できます。	
給付奨学金	
自宅通学者	29,200円(33,300円)、19,500円(22,200円)、9,800円(11,100円)、7,300円(8,400円)(月額) ※生活保護世帯及び児童養護施設等から通学する人等はカッコ内の金額
自宅外通学者	66,700円、44,500円、22,300円、16,700円(月額)

東京農工大学独自の奨学金

東京農工大学では、独自の給付型奨学金制度を設けています。修学支援のための経済支援奨学金、研究を支援する研究奨励金「JIRITSU(自立)」などの制度があります。

問い合わせ先
府中地区学生支援室学生生活係 TEL 042-367-5579
小金井地区学生支援室学生生活係 TEL 042-388-7011

地方公共団体・民間団体等の奨学金

地方公共団体・民間奨学財団が募集する奨学金は、大学を経由して募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学を経由して募集するものは、各担当窓口にて案内しますので、希望する場合には所定の期限内に申請手続きを行ってください。個人申請の場合には、各募集先の申請方法を確認し手続きをしてください。なお、奨学金は申請資格を満たしていても、必ず採用されるとは限りません。

令和6年度の募集実績はこちら
https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/fee/syogakki/syogakkin_koukyou/

学生寮・部屋探し

東京農工大学では、良好な学生生活と勉学の環境を提供するために学生寮を設置しています。入寮条件などの詳細情報は、大学のホームページにて提供しています。近隣の賃貸アパート等(1K、バス・トイレ付)の家賃相場は60,000円～75,000円ほどです。

	府中キャンパス	小金井キャンパス	
寮名	檜寮	樺寮	桜寮
部屋の規格	1人部屋(16m ²)	1人部屋(14～20m ²)	1人部屋(13～15m ²)
収容定員	男子学生49名 女子学生62名	男子学生200名	女子学生18名
寄宿料(月額)	37,800円	30,000円	
共益費(月額)	2,200円	15,000円	
諸経費	水光熱費・インターネット使用料など	共益費に水光熱費・インターネット使用料など含む	
設備	シャワー・トイレ・ミニキッチン付き	バス・トイレ・ミニキッチン付き	



檜寮



樺寮

入学科・授業料

入学科・授業料免除制度について

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、入学科・授業料の全額または一部を免除する制度です。

令和8年度			
区分	授業料	入学科	検定料
学部生	年額 642,960円	282,000円	17,000円
学部生(3年次編入生)	年額 642,960円		30,000円
大学院生	年額 642,960円		

入学科・授業料徴収猶予制度について

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、前期猶予者については当該年度8月末日まで、後期猶予者については当該年度2月末日まで入学科・授業料の徴収を猶予する制度です。

授業料の改定について

東京農工大学では、令和6年度以降に順次授業料の改定を行いました。これにより、教育・修学環境・修学支援等の改革を行い、高い価値をもつ理系イノベーション人材の輩出を目指します。

- 改革の一例
- 理系イノベーション教育の改革→学生実験・実習の設備・備品等を購入
 - 国際化の推進→短期・中期留学プログラムの拡充と一部渡航費・滞在費の支援
 - 学生の修学支援の充実→全学教育システムの機能拡充(連帯保証人向けのファミリーポータル導入等)
 - 学生の修学環境の充実→論文データベースの新規導入、保健管理センターの相談支援体制強化

単位互換制度

多摩地区にある国立4大学(東京外国語大学、東京学芸大学、電気通信大学、一橋大学)をはじめ、国際基督教大学、東京海洋大学などの大学と単位互換制度を結んでいます。キャンパスの枠を超えた多彩な履修機会を無料で提供し、学生の学びへの意欲を積極的にサポートします。

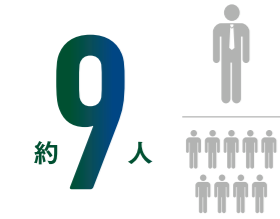
多摩地区の国立大学を中心としたキャンパスで学べる	
学部	東京外国語大学／東京学芸大学／電気通信大学／一橋大学 国際基督教大学*／東京海洋大学* ◆(海洋工学部のみ) 琉球大学*／長岡技術科学大学*
大学院	東京外国語大学／東京学芸大学 電気通信大学／国際基督教大学* 東京海洋大学*／上智大学*

◆東京海洋大学(海洋工学部)との単位互換は工学部のみとなります。
*印は多摩地区国立5大学単位互換制度ではなく、本学が独自に単位互換を実施している大学です。

数字で見る 農工大

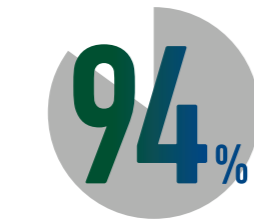
教員体制や学生生活など、さまざまなデータを通して、東京農工大学のリアルな姿をのぞいてみましょう。

教員1人に対して学生



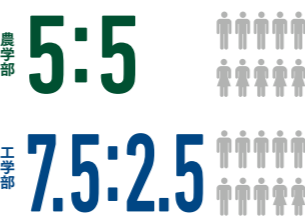
390名の教員が在職しており、学部生でみると教員1人あたりの学生数は約9人、研究室でみると平均2~3人。少人数による教育を行っています。

大学満足度



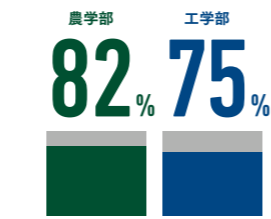
2024年度に実施した学生生活実態調査では、9割以上の学生が大学に満足しているという回答を得ることができました。

男女比



全国の理系国立大学の中でもトップクラスの女子学生比率。

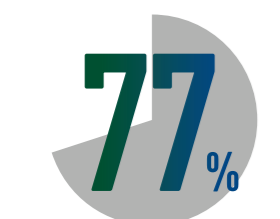
アルバイトをしている学生



アルバイトをしていると答えた人の多くは、週15時間以内で働いています。

サークル

加入している、以前加入していた



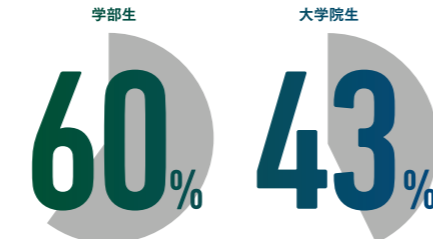
学部別にみると、「加入している」と答えた割合は農学部が工学部より高くなります。一週間の平均活動時間で最も多いのは「1時間~5時間未満」。

通学手段・方法



府中キャンパス、小金井キャンパスともに同じだが、小金井キャンパスでは府中キャンパスより徒歩の割合が高くなります。

自宅から通学している学生



学年が上がるにつれ、単身生活を送る学生の比率が増えています。

イベントカレンダー

東京農工大学では、工学部「阜月祭」、農学部「農工祭」を中心に、さまざまな年中イベントを楽しめます。自然豊かなキャンパスの四季の変化を堪能できるのも魅力です！

4	入学式 新入生オリエンテーション	5	阜月祭 (小金井キャンパス)	6		7		8	夏季休業 オープンキャンパス	9	総合型選抜 (SAIL)
前 学 期											
10		11	農工祭 (府中キャンパス) 秋のオープンキャンパス 総合型選抜 (ゼミナール)	12	冬季休業	1	大学入学 共通テスト 学校推薦型 選抜	2	一般選抜 (前期)	3	一般選抜 (後期) 春季休業 卒業式
後 学 期											



入試情報

2027年度募集人員

備考

- ①学校推薦型選抜において、産業動物獣医師養成枠として、農学部共同獣医学科で若干名募集します。
- ②前期日程の募集人員には、学校推薦型選抜(産業動物獣医師養成枠)、社会人入試および私費外国人留学生入試の若干名を含みます。
- ③総合型選抜および学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

学部	学科	入学定員	一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜	特別選抜		
			前期日程	後期日程	ゼミナール入試	SAIL入試		社会人入試	私費外国人留学生入試	
出願期間(2027年度入試)			1/25~2/3		10/2~10/8	9/1~9/7	1/14~1/20	1/14~1/20	1/15~1/25	
選抜期日(2027年度入試)			2/25	3/12	11/28	9/25		2/25・2/26	2/26	
学部	学科	入学定員	募集人員(人)							
農学部	生物生産学科	57	38	13	募集しない	募集しない	6	若干名	若干名	
	応用生物科学科	71	47	16			8	〃	〃	
	環境資源科学科	61	40	12			3	〃	〃	
	地域生態システム学科	76	53	15			8	〃	〃	
	共同獣医学科	35	25	6			4	募集しない	〃	
	学部計	300	203	62			3		32	
工学部	生命工学科	81	42	25	募集しない	募集しない	7	7	若干名	
	生体医用システム工学科	56	28	18			6	4	〃	
	応用化学科	81	42	36			募集しない	3	〃	
	化学物理工学科	81	41	31			5	4	〃	
	機械システム工学科	102	52	37			5	8	〃	
	知能情報システム工学科	120	64	42			7	7	〃	
	学部計	521	269	189				30	33	
	合計	821	472	251			3	30	65	

※この情報は2026年3月時点の内容です。必ず本学WEBサイトに最新の情報を確認してください。

入試関係資料について(予定)

	大学案内	入試情報	総合型選抜学生募集要項 (ゼミナール・SAIL)	特別選抜学生募集要項 (社会人・私費外国人留学生)
	5月中旬	7月中旬	7月下旬	8月下旬
東京農工大学生協(宅配)	○	○	○	○
テレメール	○	○	○	○
モバっちょ	○	○	○	○

「入学者選抜要項」「一般選抜学生募集要項」「学校推薦型選抜学生募集要項」は、本学ホームページでの掲載(PDF形式)のみのため、印刷物の発行はありません。
なお、一般選抜および学校推薦型選抜ではWEB出願を実施しています。
https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/

東京農工大学生協(宅配) インターネット、携帯電話・スマートフォンまたはFAXにてお申し込みください。

申し込み先

フォームに必要事項を入力し、内容を確認の上、送信してください。
インターネット・スマートフォン <https://www.univcoop.jp/tuat> FAX | 042-352-7222

宅配に関する問い合わせ先

東京農工大学生協
電話 042-366-0762(夏季休業日・年末年始・土日・祝日を除く11:00~14:00)



申し込みサイト

テレメール インターネットにより請求することができます。

- 1 テレメールのサイトにアクセスしてください。
<https://telemail.jp>
(資料請求番号の入力不要)
- 2 ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。
- 3 ガイドンスに従ってお届け先等を登録してください。



総合型選抜学生募集要項	581780	大学案内	562320
総合型選抜学生募集要項 +大学案内	582440		
特別選抜学生募集要項	582340	入試情報	547140

資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。料金のお支払いは「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い(PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い)」がご利用いただけます。(PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、支払い時に別途必要です)

テレメールで請求した資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先 テレメールカスタマーセンター (IP電話) 050-8601-0102 (受付時間9:30~18:00)

モバっちょ 携帯電話・スマートフォンまたはパソコンにより請求することができます。お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。

インターネット | <http://djc-mb.jp/tuat2/>

インターネットのみの利用となります。パソコン、携帯電話各社・スマートフォンともアドレスは共通。携帯電話・スマートフォンから請求すると、月々の通話料金と一緒にお支払いいただけます。クレジットカード払い、コンビニ後払いも選択できます。資料請求代金に加えて、携帯払い、クレジットカード払いは50円、コンビニ後払いは126円の支払い手数料が別途必要です。携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約内容によっては携帯払いがご利用いただけない場合があります。



入試に関する問い合わせ先 東京農工大学 学務部 入試企画課 〒183-8538東京都府中市晴見町3-8-1 電話 | 042-367-5837、5544

OPEN CAMPUS 2026

東京農工大学への進学を希望する受験生のみなさんを対象に、今年も東京農工大学のオープンキャンパスを開催します。保護者の方々、高校の先生、塾・予備校関係者の参加も大歓迎。お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

農学部			工学部		
日程	対象	名称(内容)	日程	対象	名称(内容)
8月6日(木)	環境資源科学科	●夏休み一日体験教室	8月4日(火)	生命工学科 生体医用システム工学科 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工学科 知能情報システム工学科	●夏のオープンキャンパス ～学部説明会～ 学科別説明会 8月4日(火) 10:00～12:00 13:30～15:30 8月5日(水) 10:00～12:00
8月3日(月)	共同獣医学科		8月5日(水)		
8月4日(火)	地域生態システム学科	●学科説明会 10:00～12:00/ 13:30～15:30 学科の教育・研究の紹介、模擬授業、キャンパスツアーなど(学科により内容が異なります。)	11月8日(日)	生命工学科 生体医用システム工学科 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工学科 知能情報システム工学科	●秋のオープンキャンパス ～研究室大公開～ 学科別説明会および 研究室大公開 10:00～12:30 13:30～16:00
8月5日(水)	環境資源科学科				
8月7日(金)	応用生物科学科				
8月10日(月)	生物生産学科				
10月11日(日)	生物生産学科、 環境資源科学科	●秋のキャンパスハイク 9:30～10:30/ 11:30～12:30/ 14:00～15:00 キャンパス内を巡りながら、在学生が農学部の教育環境や学生生活などを紹介します。また、ハイク前後に学科説明、質疑応答を行います。(学科により内容が異なります。)			
10月18日(日)	応用生物科学科 地域生態システム学科				

上記の日時で開催予定ですが、変更する場合がございます。参加される前に必ず本学WEBサイトにてご確認ください。

参加申し込み 事前のお申し込みが必要です。WEBサイトからお申し込みください。
※開催日により説明する学科が異なります。定員になり次第、締め切る場合があります。

問い合わせ 農学部広報担当▶電話：042-367-5799 E-mail：a-koho@cc.tuat.ac.jp
工学部広報担当▶電話：042-388-7741 E-mail：k-koho@cc.tuat.ac.jp

<https://www.tuat.ac.jp/admission/opencampus/>



学園祭 2026 各学園祭の学生委員が主体となって企画・実施をします。

皐楓祭 (小金井キャンパス)

5/24

毎年5月に行われます。受験生や地域の方々に本学を知ってもらう機会とするとともに、在学生に学年や学科、サークルの垣根を越えて交流してもらう機会としています。

農工祭 (府中キャンパス)

11/13 FRI, 14 SAT, 15 SUN

模擬店、野菜市、ライブステージ、受験生相談や研究室公開など、さまざまな企画が催されます。また、農学部主催の「農学サイエンスフェスタ(ポスターによる研究紹介)」などが同期間に開催されます。



高大接続プログラム

東京農工大学では、中高生が大学の学びを体験できるプログラムを実施しています。

高校生対象サイエンスキャンプ

地球規模の課題に挑む科学技術人材を目指そう!

地球温暖化、気候変動、環境破壊、食料不足、エネルギー問題、それを解決する科学技術など、こうした地球規模の課題に挑む次世代の科学技術人材を育成するためのプログラムです。主に高校1、2年生を対象に東京農工大学で学部生、大学院生が使用している先進施設、設備を使った科学体験や、先端研究者の講演を受講することができます。また全国から集まった同じ興味、関心を持つ生徒同士のディスカッション、プレゼンテーションをワークショップ形式で行います。プログラムの内容、参加者募集の詳細などはWebサイトをご参照ください。

対象

高校1-2年生(中等教育学校4-5年生)
※中学3年生(中等教育学校3年生)も実施プログラム内容を了解した上で応募可能。



公式Webサイトはこちら



上 1泊2日の合宿形式でのフィールド実習、科学実験などを通して、最新の現場を体験、理解します
下 先端科学研究者の講義を受け、同じ課題意識を持つ生徒同士でディスカッションを行い、解決方法の提案をプレゼンテーションします

女子中高生のためのサマースクール

親子で理系の進路選択について考えよう!

東京農工大学では、理系女子の活躍の場を広げるための取り組みとして、2009年から毎年開催しています。女性研究者の講演会、実験体験プログラム、大学生との交流、施設見学などのプログラムを実施しています。保護者も同伴可能なため、親子で進路選択について考えてもらう絶好の機会になっています。毎年定員を上回るお申し込みをいただいています。毎年7月下旬～8月上旬の土曜日に開催しています。詳しくは女性未来育成機構のWebサイトをご覧ください。

対象

女子中学生、女子高校生、保護者



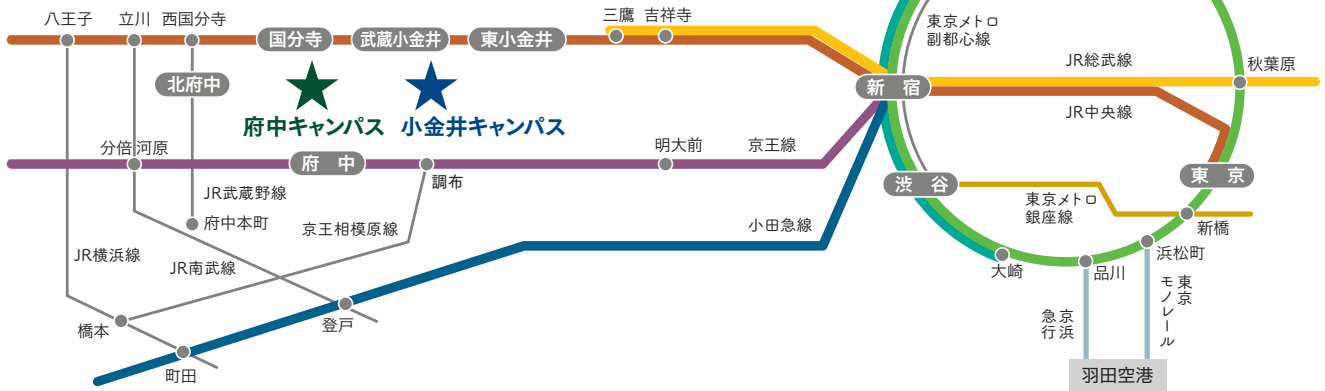
公式Webサイトはこちら



上 実験体験プログラムでは、コンクリートに関する実験を体験
下 講演会では農学・工学分野それぞれの女性研究者が登場

ACCESS MAP

都心からアクセス良好な2つのキャンパス



府中キャンパス

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

交通案内

- JR中央線「国分寺駅」下車→南口2番乗場から「府中駅行バス(明星学苑経由)」約10分「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車
- 京王線「府中駅」下車→北口バスターミナル3番乗場から「国分寺駅南口行バス(明星学苑経由)」約7分「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車
- JR武蔵野線「北府中駅」下車、徒歩約12分

小金井キャンパス

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

交通案内

- JR中央線「東小金井駅」下車、南口徒歩8分、nonowa口徒歩約6分
- JR中央線「武蔵小金井駅」下車、徒歩約20分

東京農工大の“今”を発信中!

今すぐ
チェック!

東京農工大学
ウェブサイト



<https://www.tuat.ac.jp/>

東京農工大学の学部、大学院、入試情報のほか、オープンキャンパスや相談会、説明会のイベント情報など、さまざまな情報を発信。ドローンを使用して空撮した両キャンパスの映像は必見です。

受験生向け
特別サイト



<https://web.tuat.ac.jp/~admiss/>

受験生の気になるキャンパスライフ情報を公開しています。研究室やサークル、農工大生の1日の様子、活躍する卒業生、学生生活の情報など、受験生の皆様へ向けた情報をお届けします。

公式キャラクター
ハッケンコウケン
公式LINEスタンプ
発売中!



日常生活で使えるものから学生ならではのものまで、フレーズを厳選したスタンプです。

- 第1弾 スタANDARDなラインナップ
- 第2弾 アンケートをもとに作成
- 第3弾 他大学とのコラボが実現

※収益は全額本学の教育・研究及び三大学連携に活用させていただきます。

Instagram



@tuat_hakkenkoken

大学で開催されたイベントやキャンパスの日常、クラブ・サークル活動の様子を公式キャラクターの「ハッケンコウケン」が発信しています。

X



@TUAT_PR

プレスリリースやイベント情報など、最新ニュースやトピックスを発信します。農工大の動きや話題を知ることができる公式アカウントです。

LINE



@tuat

オープンキャンパスなど学内外で開催するイベント情報、入試に関する情報などをお届けします。農工大公式キャラクター「ハッケンコウケン」のLINEスタンプもあります。